

蒲郡市生涯学習推進計画 2022 (素案)

令和3年 11 月

蒲 郡 市

目次

計画策定にあたって.....	1
1 計画策定の趣旨.....	1
2 計画の位置づけと期間.....	1
3 計画の策定方法.....	2
4 生涯学習の意義.....	3
5 生涯学習をめぐる動向.....	5
生涯学習の現状と課題.....	8
1 蒲郡市の現状.....	8
2 「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」の進捗状況.....	20
3 生涯学習の推進にあたっての課題.....	23
4 生涯学習の推進にあたって必要な視点.....	26
計画の基本的な考え方.....	27
1 基本理念.....	27
2 基本方針.....	27
3 施策体系.....	28
施策の展開.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
基本方針 1 学びの場づくり.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
基本方針 2 学びの環境づくり.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
基本方針 3 学びを支える基盤づくり.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
基本方針 4 学びを通じたまちづくり.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
計画策定にあたって.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
1 計画の推進体制.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2 計画の進行管理.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
資料編.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
1 生涯学習推進計画 2022 策定委員会設置要綱.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2 生涯学習推進計画 2022 策定委員会名簿.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
3 計画策定の経過.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
4 蒲郡市の取組一覧.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
5 アンケート調査結果.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

1 計画策定の趣旨

私たちをとりまく社会は少子高齢化や人口減少、急速な情報化、価値観の多様化等により、めまぐるしく変化しています。また、人生 100 年時代と言われる現代においては、一人ひとりがその可能性を最大限に引き出し、豊かな人生を送ることができるよう、誰もがあらゆる機会に学び続けることができる環境づくりが求められており、生涯学習の重要性は一層増しています。

また、少子高齢化の進展や地域のつながりの希薄化、若年・現役世代の地域参加の乏しさなど、地域には様々な課題が存在しています。一人ひとりが自身の人生の豊かさのために学ぶだけでなく、一人ひとりの学習活動がこうした地域の課題解決に資するものとなるよう、学んだ学習成果を地域社会で活かすことのできる循環型の社会の構築が求められています。

蒲郡市においては、平成 7 年に「ゆたかな海と緑の学園都市構想」として、生涯学習推進計画を策定し、その後、平成 17 年、平成 29 年に改定版を策定しました。このたび平成 29 年に策定した「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」が計画の最終年度を迎えることから、第 4 期の計画である「蒲郡市生涯学習推進計画 2022」を策定します。

市民一人ひとりが、個人として、または仲間同士で気軽に生涯を通して楽しく学び続けることができるように社会情勢の変遷も考慮に入れ、より身近な生涯学習環境の実現を目指して、「生涯学習推進計画」の見直しを行います。

2 計画の位置づけと期間

(1) 計画の位置づけ

市の「第五次蒲郡市総合計画」（計画期間：令和 3 年度から令和 12 年度まで）の基本目標の一つである「人と文化を未来につなぐまちづくり」を目指すため教育・文化分野の分野別計画として、生涯学習や文化芸術の推進にあたっての基本的方向を示すものです。策定にあたっては、その他の関連計画との整合性を図っていきます。

なお、本計画は「教育基本法」及び「社会教育法」の趣旨を踏まえた「生涯学習推進計画」であるとともに、「文化芸術基本法」により各自治体における策定が努力義務とされている「文化芸術推進計画」として位置づけます。

(2) 計画の期間

本計画の期間は、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間とします。

3 計画の策定方法

(1) アンケート調査の実施

市民の生涯学習に対する意識や生涯学習活動の状況等を把握するとともに、蒲郡市文化協会に加盟する団体や蒲郡市の公民館で活動する団体の活動状況や活動上の課題等を把握するために、アンケート調査を実施しました。

区分	一般調査	団体調査
調査対象者	市内在住の満 18 歳以上の住民：1,500 件 蒲郡市文化スポーツリーダー：77 件	蒲郡市文化協会に加盟する団体：112 団体 蒲郡市の公民館で活動する団体：316 団体
調査方法	郵送配布・郵送回収（回収率 35.5%）	各施設での配布・回収（回収率 69.6%）
調査期間	令和 2 年 10 月 23 日（金）～ 令和 2 年 11 月 20 日（金）	令和 2 年 10 月 23 日（金）～ 令和 2 年 11 月 20 日（金）

(2) ワークショップの実施

一般市民や地域で生涯学習活動を行っている人を対象にワークショップを開催し、生涯学習の推進にあたっての課題やニーズ、必要な取り組みなどについて、グループトークを行いました。

テーマ	地域で学ぶ。学びを地域に生かす。～ みんなで語ろう！これからの学び・まちづくり ～
実施概要	① 第 1 回：生涯学習に関する講習会・生涯学習にかかる課題の抽出 令和 3 年 8 月 8 日（日） 蒲郡市民会館大会議室（参加者 16 名） ② 第 2 回：課題解決アイデアの検討 令和 3 年 8 月 29 日（日） オンライン開催（参加者 17 名） ③ 第 3 回：課題解決に向けての個人、地域、行政の役割の検討・ 今後必要な生涯学習活動の検討 令和 3 年 9 月 11 日（土） オンライン開催（参加者：16 名）

(3) 団体・企業ヒアリングの実施

生涯学習活動をしている団体や地域に生涯学習の機会を提供していただいている企業に対し、ヒアリング調査を実施し、活動の状況や活動上の課題、本市の生涯学習の状況等を伺いました。

(4) 策定委員会の開催・パブリックコメントの実施

「蒲郡市生涯学習推進計画 2022 策定委員会」を設置し、計画案についての審議を行いました。また、計画書に市民の意見を反映させるため、計画案をホームページ等で公開し、パブリックコメントを実施しました。

4 生涯学習の意義

(1) 生涯学習とは

生涯学習とは、一人ひとりが健康で豊かな生きがいのある充実した人生を送るため、あらゆる機会にあらゆる場所で生涯を通じて行う学習活動のことです。家庭教育や学校教育、社会教育全ての学習活動を含むものであり、文化芸術、スポーツ、レクリエーション、ボランティア、趣味等、個人が行う多様な活動のほか、企業等で行われている教育・研修活動や出前授業の活動、地域（自分の住むまち）の課題について話し合ったり、地域のことを知る活動も生涯学習に含まれます。

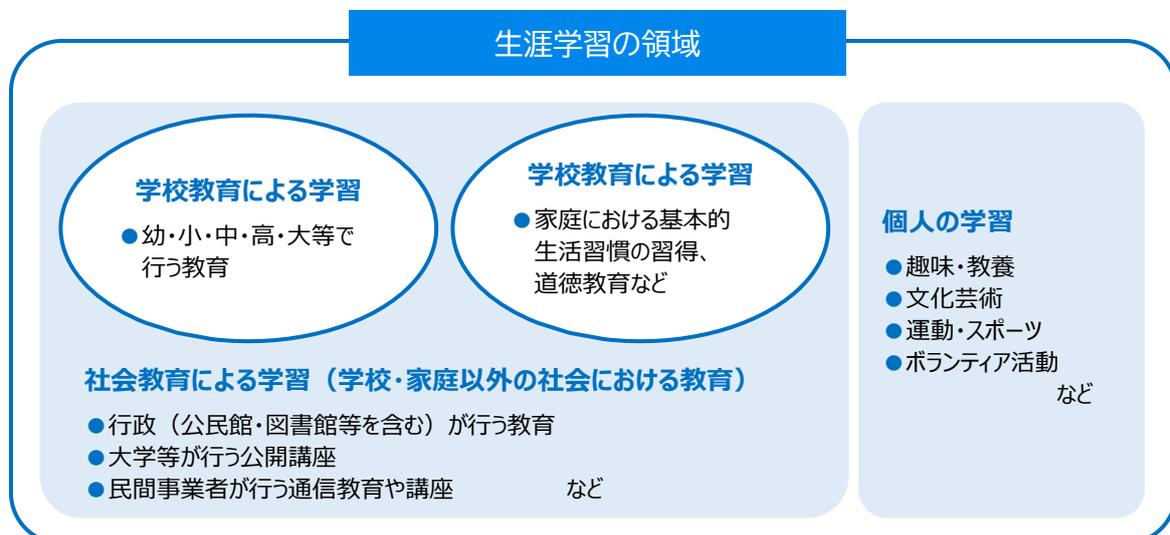
また、誰もが、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価される社会を「生涯学習社会」といいます。

(2) 生涯学習の必要性

生涯にわたって学ぶということは、必要な知識や技術を習得できるだけでなく、学習活動を行うこと自体が生きがいとなり、人生の豊かさにつながります。また、文化芸術に親しむことは、人々の心や暮らしにゆとりと潤いをもたらし、生きる力や気づきを与えてくれるだけでなく、異なる文化を持つ人々の交流や相互理解を促し、人と人とをつなぐ上で重要な役割を果たしています。

社会経済情勢が目まぐるしく変化する現代において、絶えず新しい知識や技術を習得していくこと、豊かな感性を養い、多様な価値観を受け入れる視点を持つことは不可欠であり、「人生 100 年時代」を豊かに生きるためにも、生涯学習社会の実現は重要な課題となっています。

また、一人ひとりの学習に対する向上心は地域の活性化をもたらすため、活力あるまちづくりのためにも「学び」は欠くことのできない大切な営みです。学習活動、文化芸術活動を通して地域と交流を深めることは、地域の活性化や高齢者の社会参加、青少年の健全育成、多文化の共生などにつながり、まち全体にとっても大変有意義であると考えられています。そのほか、地域の課題が多様化・複雑化するなかにおいて、「学び」や「文化芸術」を通じて市民一人ひとりが地域にかかわり、地域の担い手として学習の成果をまちづくりに生かしていくことが期待されています。



(3) 蒲郡市が目指す生涯学習

本市では市民一人ひとりが自発的に学習活動や文化芸術活動を行い、日々生きがいをもって、充実した人生を送ること、また、地域に根差した市民の学びの活動がまちづくりへとつながることを目的として生涯学習、文化芸術の推進に取り組んでいます。市民一人ひとりの学習活動を支えるための多様な学習機会、文化芸術にふれる機会の提供とともに、活動の成果をまちづくりに幅広く生かすことができる仕組みづくりを進めるため、以下の5つの方向から生涯学習社会の実現を目指します。

- 自発的な生涯学習の推進
- 文化公演事業や企画展の充実
- 学校・地域・団体の連携による生涯学習活動の推進
- 公民館を拠点とした学習機会による地域交流の推進
- 学習活動からまちづくりへの展開

蒲郡市生涯学習推進計画とSDGs

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略であり、平成27年9月の国連サミットにおいて採択された、持続可能な世界を実現するための国際社会全体の普遍的な目標で、17のゴール（目標）と169のターゲットから構成されています。

SDGsの推進にあたっては、誰一人取り残さない世の中の実現や、経済・社会・環境の統合が実現された未来を目指すことが重要であるとされており、国においても、その達成に向けた取り組みが進められています。

本市においても地方創生に向けた取り組みの推進とあわせてSDGsの推進に取り組んでおり、「第五次蒲郡市総合計画」の各施策分野に17のゴールを関連づけることにより、全庁的な推進を図っています。本計画の推進をすることにより、「目標4 質の高い教育をみんなに」、「目標11 住み続けられるまちづくりを」の達成を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



5 生涯学習をめぐる動向

(1) 近年における国の動向

① 教育基本法の改正

平成 18 年 12 月に 60 年ぶりに「教育基本法」が改正され、同法第 3 条において「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」という生涯学習の理念が示されました。

また、同法第 17 条第 1 項において、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、国において基本的な計画（教育振興基本計画）を定めることが規定されました。

② 教育振興基本計画

教育基本法の改正に伴って、平成 20 年 7 月に「教育振興基本計画」が閣議決定され、地方公共団体は、国の「教育振興基本計画」を参酌し、地域の実情に応じて「地方公共団体における教育のための施策に関する基本的な計画」を定めるよう努めることが求められました。平成 25 年 6 月には「第 2 期教育振興基本計画」が閣議決定されています。

その後、平成 30 年 6 月に「第 3 期教育振興基本計画」が策定され、「2030 年以降」の社会を見据えた教育政策の在り方が示されました。生涯学習の推進に向けては「人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進」、「人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進」、「職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身につけるための社会人の学び直しの推進」、「障害者の生涯学習の推進」といった目標が示されました。

③ 中央教育審議会

平成 30 年 12 月の中央教育審議会では「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の答申がなされ、社会教育の意義・果たすべき役割を明確にした上で、新たな社会教育の方向性と「学びへの参加のきっかけづくりの推進」、「多様な主体との連携・協働の推進」、「多様な人材の幅広い活用の促進」、「社会教育の基盤整備と多様な資金調達手法の活用等」の具体的方策が示されました。

令和 2 年 9 月には、第 10 期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理がまとめられ、「社会包摂の実現」、「人生 100 年時代と生涯学習・社会教育に必要な資質・能力等の更新」、「Society5.0[※]に向けたこれからの生涯学習・社会教育」、「地域活性化の推進」、「子供・若者の地域・社会への主体的な参画と多世代交流の推進」等が生涯学習をめぐる現状課題として挙げられています。

用語解説

※Society5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のこと。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第 5 期科学技術基本計画において、我が国がめざすべき未来社会の姿として初めて提唱された。

④ 関連する法改正・規定

近年では、文化芸術に関する事項として、平成 29 年 6 月に「文化芸術振興基本法」が改正され、新しく成立した「文化芸術基本法」では、文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策を法律の範囲に取り込むこと、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが明記されています。また、地方公共団体に対し、「地方文化芸術推進基本計画」の策定が努力義務として規定されています。

平成 31 年 3 月には、文部科学省の有識者会議によって「障害者の生涯学習の推進方策について ―誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して―」がまとめられ、共生社会の実現がうたわれています。

(2) 近年における県の動向

愛知県においては、平成 25 年に「愛知県生涯学習推進計画」が策定され、その基本理念として「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」が掲げられています。

その後、平成 30 年に「愛知県生涯学習推進計画」の基本理念を継承した「第 2 期愛知県生涯学習推進計画」が策定されています。第 2 期計画では、基本理念を実現するための 3 つの視点として、「個人の自立を促し、学びを生かす機会の充実」、「地域の絆（きずな）づくり・ネットワークづくりの促進」、「多様な主体による連携・協働の強化」が設定されており、「長寿社会を豊かに生きる生涯学習」、「家庭と地域の教育力を高める生涯学習」、「持続可能な社会づくりを進める生涯学習」、「職業的自立を高める生涯学習」、「生涯学習推進体制づくり」が生涯学習施策を展開する 5 つの基本的な柱として掲げられています。

(3) 蒲郡市の取り組み

① 「蒲郡市生涯学習推進計画」の策定

本市では平成 7 年に「蒲郡市生涯学習推進計画」を策定し、「がまごおり ゆたかな海と緑の学園都市構想」を軸として「市民大学構想」、「ミニ博物館構想」など 4 つのプロジェクトを提示しました。同年から平成 17 年まで「市民大学講演会」をシリーズ化して開催し、市民に文化講演の機会を提供しました。公民館や体育館など社会教育施設においても講座や教室などを開催しました。また、市の仕事を市民の方に知ってもらうことを目的に、平成 13 年には「出前講座」を開始しました。その他、市民への生涯学習情報として、市内で活動する「団体・サークル紹介誌」の発行やボランティアで生涯学習活動の指導を担う「GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー」登録制度を確立し、市民の生涯学習活動への機会づくりを推進しました。

② 「蒲郡市生涯学習推進計画 2005」の策定

平成 17 年には第 2 期目の計画となる「蒲郡市生涯学習推進計画 2005」を策定しました。引き続き「がまごおり ゆたかな海と緑の学園都市構想」の実現のため平成 17 年度から平成 26 年度までの 10 年間で計画期間としていましたが、2 年間延長して平成 28 年度までとしています。音楽をテーマにしたさまざまな事業の開催を契機に、まちづくりの一環として音楽を中心とした市民の自主的な活動が盛んになってきました。また、児童館などで親子参加型の講座開催や公民館で多岐にわたる分野の講座を開催するなど、生涯学習講座数は飛躍的に増えるなど成果をあげています。

③ 「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」の策定

平成 29 年には第 3 期目の計画として「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」を策定しました。この計画は平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間で計画期間とし、基本理念を「一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり」として「GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー」による市民企画講座や成果発表会の実施などに取り組みました。また、蒲郡市文化協会創立 50 周年記念となる令和 2 年の市民文化祭については、令和元年度末から流行が始まった新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部オンライン開催とするなど、新しい生活様式に対応した形で行いました。

④ その他近年の取り組み

市民にとって最も身近な学習拠点である公民館についても整備を進めており、最も老朽化が進んでいた府相公民館を移転し、竹島小学校敷地内に新築しました。学校敷地内に公民館を建築したのは市内初で、学校と地域の交流の促進を目的とした初めての取り組みとなります（令和 2 年 2 月より運用開始）。

その後の令和 3 年には、市の公民館の将来を見据えた施設のあり方・考え方についてとりまとめた「蒲郡市公民館のあり方について（公民館グランドデザイン）」を策定しています。

生涯学習をめぐる近年の主な動き

年	国	愛知県	蒲郡市
平成 7 年			・「蒲郡市生涯学習推進計画」策定
平成 17 年			・「蒲郡市生涯学習推進計画 2005」策定
平成 18 年	・「教育基本法」改正 生涯学習の理念が示される		
平成 20 年	・中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」(2月) ・「教育振興基本計画」閣議決定(7月)		
平成 25 年	・「第 2 期教育振興基本計画」閣議(6月)	・「愛知県生涯学習推進計画」策定	
平成 29 年	・「文化芸術振興基本法」改正、「文化芸術基本法」成立(6月)		・「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」策定
平成 30 年	・「第 3 期教育振興基本計画」閣議(6月)	・「第 2 期愛知県生涯学習推進計画」策定	
平成 31 年	・「障害者の生涯学習の推進方策について ―誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して―」発表(3月)		
令和 2 年	・「第 10 期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」発表(9月)		・府相公民館を移転、竹島小学校敷地内に新築
令和 3 年			・「蒲郡市公民館のあり方について（公民館グランドデザイン）」策定
令和 4 年			・「蒲郡市生涯学習推進計画 2022」策定

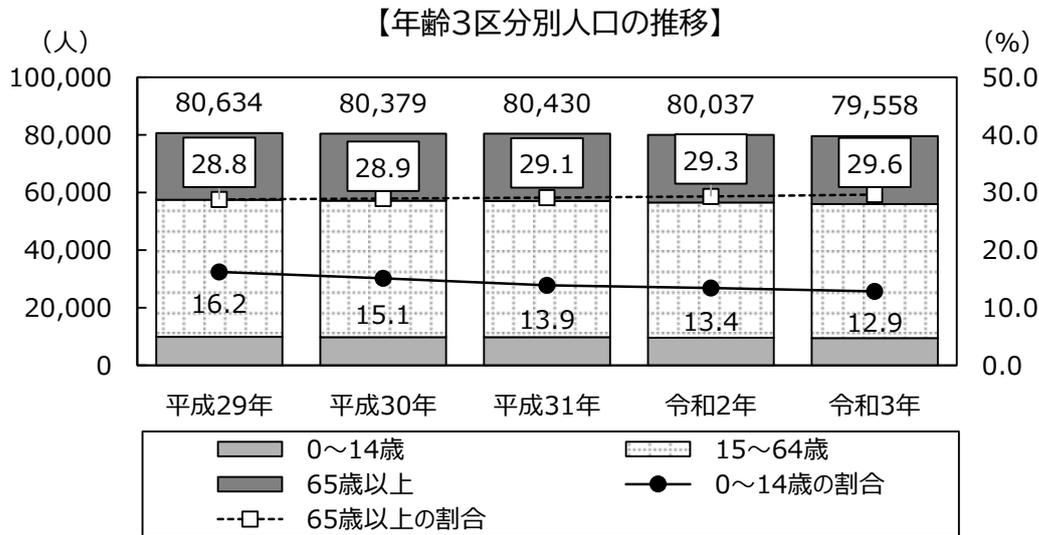
1 蒲郡市の現状

(1) 人口等の動向

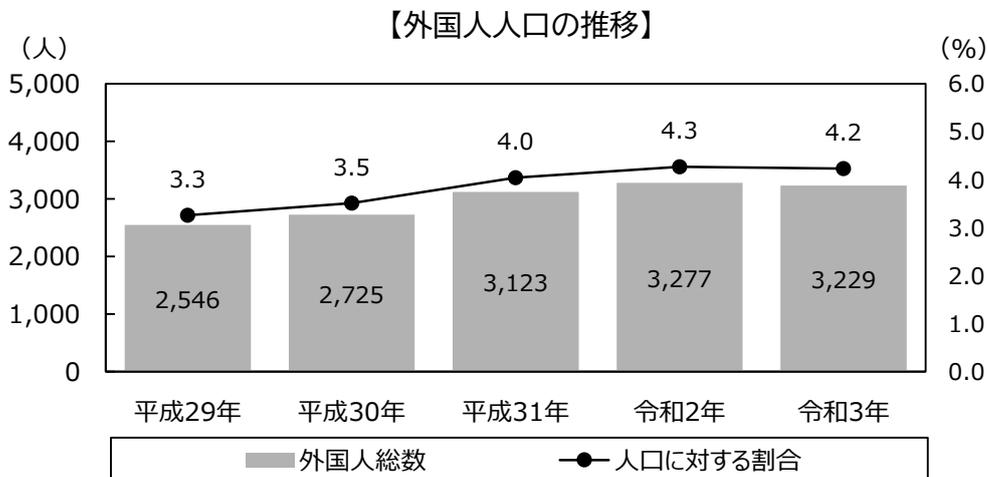
① 人口の推移

蒲郡市の人口は年々減少傾向にあり、令和3年4月1日現在の住民基本台帳人口は8万人を下回り、79,558人となっています。高齢化は年々進み、令和3年4月1日現在の住民基本台帳人口から算出すると、令和3年では29.6%となっています。

外国人人口についてはおおむね増加傾向にあり、令和3年では3,229人となっており、人口の4.2%を占めています。



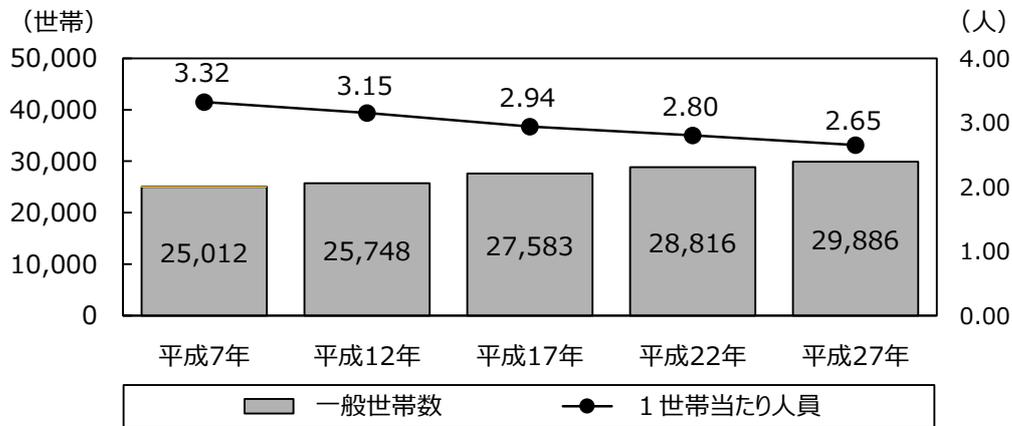
資料：住民基本台帳（各年4月1日）



資料：住民基本台帳（各年4月1日）

蒲郡市の一般世帯数は増加している一方で、1世帯あたり人員は減少し、平成27年では一般世帯数が29,886世帯に対し、1世帯あたり人員は2.65人となっており、世帯の小規模化が進んでいることがうかがえます。

【世帯数と一世帯あたりの人員の推移】



資料：国勢調査（各年10月1日）

② 地域の状況

掲載データについては
整理中です。

【常会加入世帯・加入率の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
加入世帯数※	26,506	-	26,814	-	27,036
加入率	87.6%	-	87.5%	-	86.9%

※2年に1回調査を実施。数値には外国人世帯・混合世帯（1つの世帯に外国人と日本人が含まれる世帯）を含まない。

【友愛クラブ（老人クラブ）数・会員数の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
クラブ数	55	55	55	55	54
会員数	3,244	3,127	3,081	2,946	2,868

【小学校児童数・子ども会加入率の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
児童数	4,118	4,096	4,035	3,979	3,874
加入率	74.7%	71.3%	68.0%	64.2%	54.6%

【公民館登録団体数・団体利用者数の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
登録団体数	343	345	349	362	
利用者数（延べ数）	150,262	150,511	139,182	59,084	

【文化協会加盟団体数・登録者数の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
加盟団体数	128	127	119	112	109
登録者数	1,968	1,890	1,846	1,664	1,346

(2) 生涯学習施設の状況

生涯学習施設の配置図を示す予定です(現在作成中)

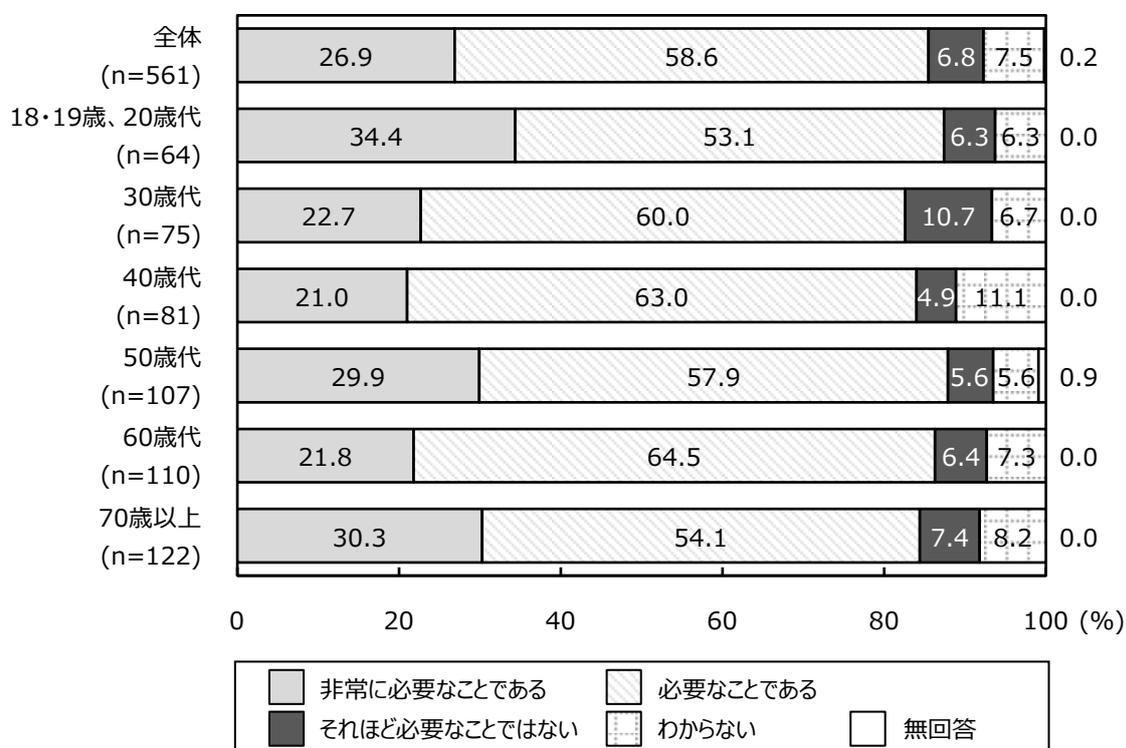
(3) 市民の生涯学習に対する意識や活動の状況

① 生涯学習に対する意識

生涯学習の必要性については、「必要なことである」が 58.6%と最も高く、次いで、「非常に必要なことである」が 26.9%、「それほど必要なことではない」が 6.8%となっており、『必要』（「非常に必要なことである」+「必要なことである」）については 85.5%となっています。

『必要』の割合を年代別で見ると、『必要』の割合はどの年代も 8 割以上となっていますが、《10・20 歳代》（87.5%）、《50 歳代》（87.8%）、《60 歳代》（86.3%）での割合が高い傾向にあります。

【生涯学習の必要性に対する考え】



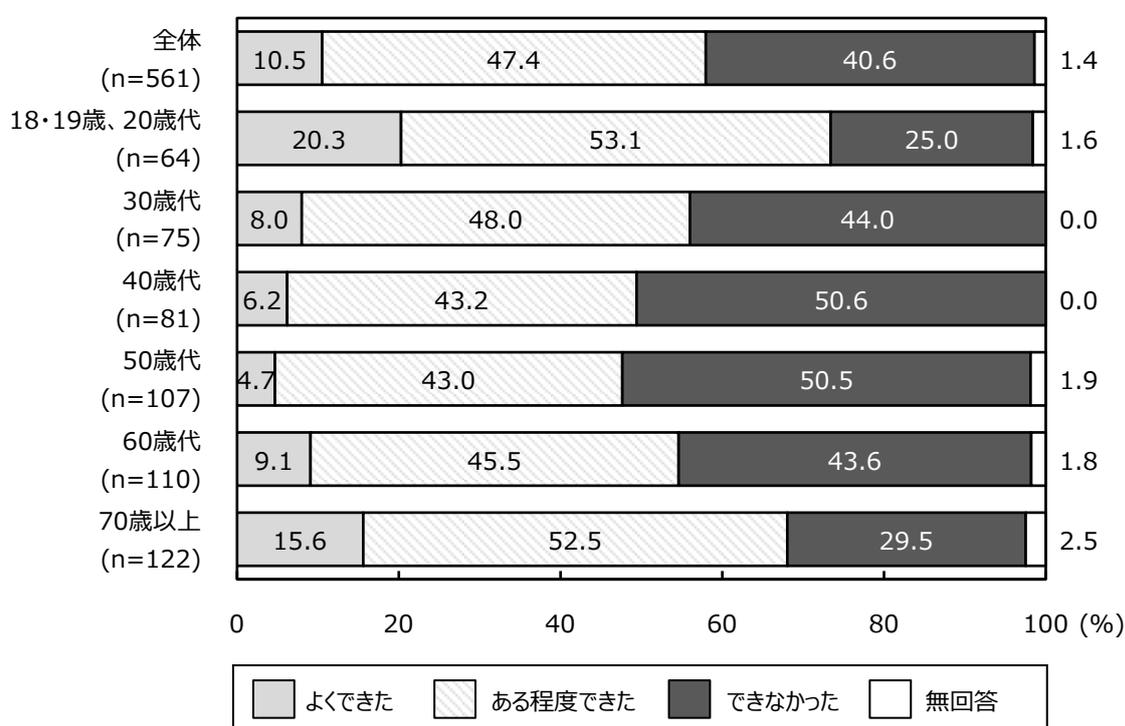
資料：令和元年度生涯学習に関する市民アンケート調査（nは回答者数）

② 生涯学習活動の状況

生涯学習活動をしたと思った時に希望通りに生涯学習活動を実践できたかについては、「ある程度できた」が 47.4%と最も高く、次いで、「できなかった」が 40.6%、「よくできた」が 10.5%となっており、『できた』（「よくできた」+「ある程度できた」）については 57.9%となっています。

『できた』の割合を年代別でみると、『できた』の割合は《10・20歳代》が 73.4%と最も高くなっています。ほとんどの年代において『できた』の割合の方が高くなっていますが、《40歳代》《50歳代》については「できなかった」の割合の方が高くなっています。

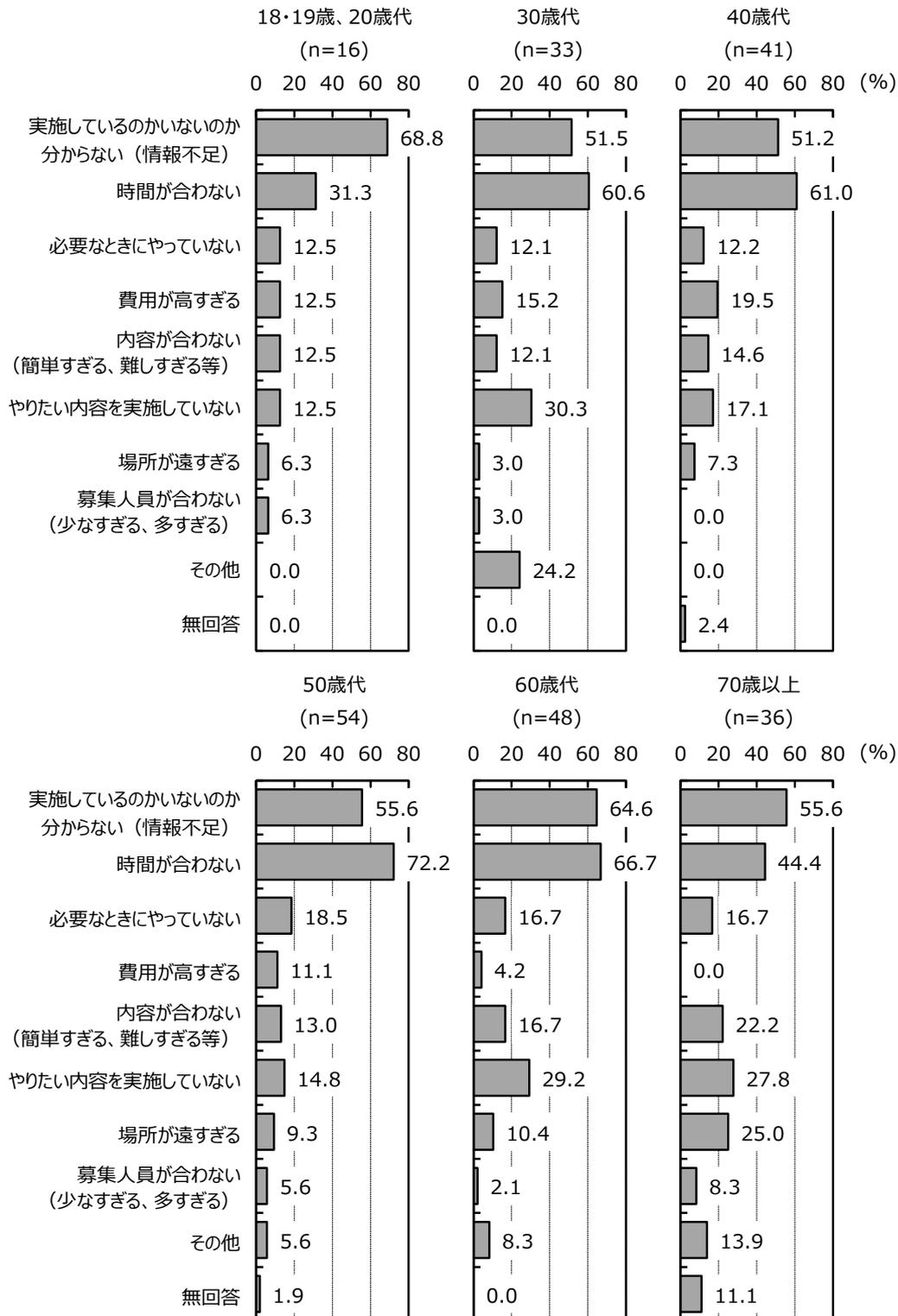
【希望通りに生涯学習活動を実践できたか】



資料：令和元年度生涯学習に関する市民アンケート調査（nは回答者数）

活動したいと思ったにもかかわらず、希望通りに実践できなかった理由について年代別でみると、どの年代も「時間が合わない」、「実施しているのかいないのか分からない（情報不足）」が上位2位となっていますが、「時間が合わない」の割合は、《30歳代》から《60歳代》で高い傾向にあり、特に《50歳代》で高くなっています。また、《18・19歳、20歳代》では他の年代に比べて「実施しているのかいないのか分からない（情報不足）」の割合が高い傾向にあります。

【希望通りに生涯学習活動が実践できなかった理由】

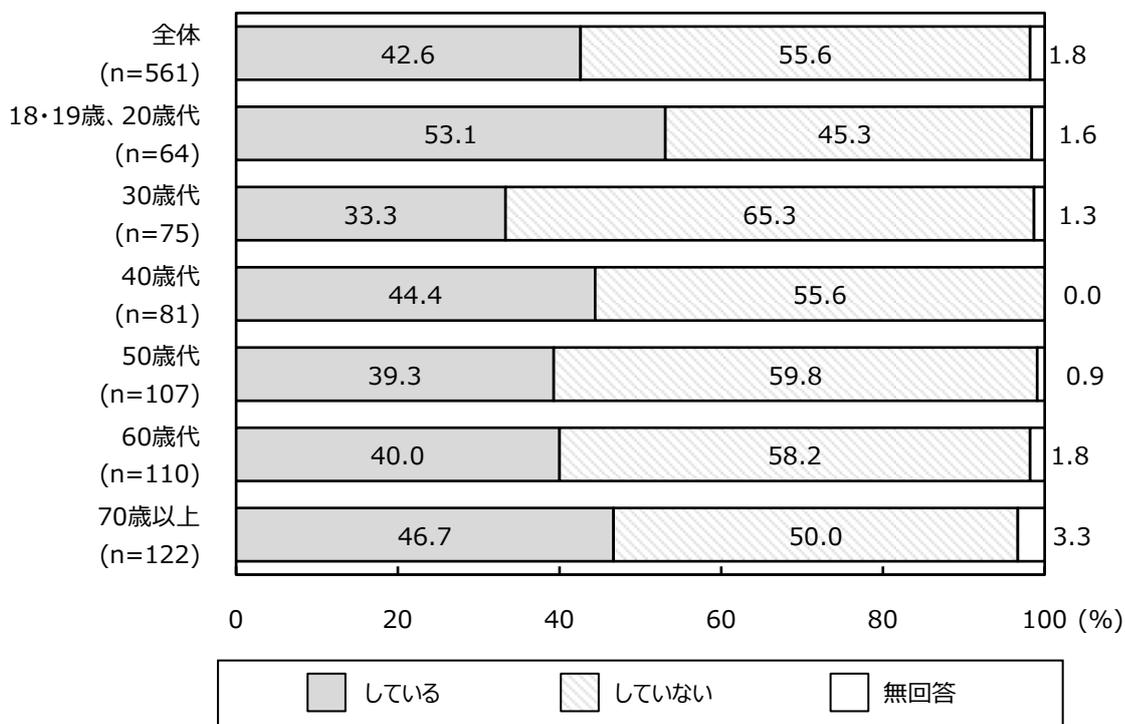


資料：令和元年度生涯学習に関する市民アンケート調査（nは回答者数）
 （注）回答は複数回答

この2～3年間に生涯学習活動をしているか、については、「している」が42.6%と、「していない」が55.6%となっています。

「している」の割合を年代別で見ると、「18・19歳、20歳代」での割合が最も高く、53.1%となっています。割合が低いのは「30歳代」で、「30歳代」では「していない」が60%以上となっています（65.3%）。また、18・19歳、20歳代を除くどの年代においても「していない」の割合の方が高くなっています。

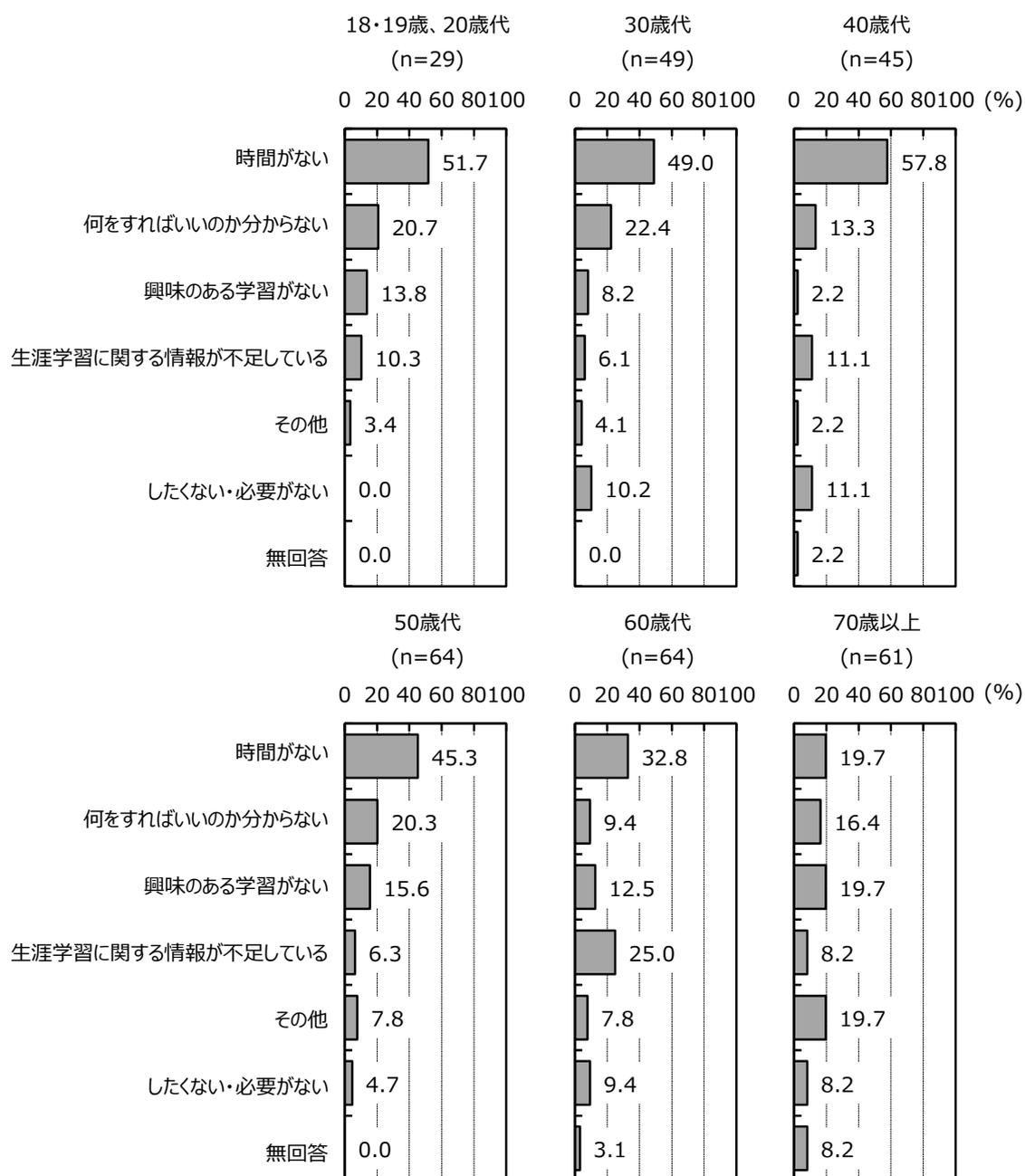
【この2～3年間の生涯学習活動の有無】



資料：令和元年度生涯学習に関する市民アンケート調査（nは回答者数）

この2～3年間に生涯学習活動をしていない人はなぜしていないのか、理由について年代別でみると、《60歳代》以下は「時間がない」が最も高くなっています。《70歳以上》については「時間がない」と「興味のある学習がない」が同率となっています。また、いずれの年代も「何をすればいいのか分からない」の割合が比較的高くなっています。《60歳代》については「生涯学習に関する情報が不足している」の割合が他の年代に比べて高い傾向にあります。

【この2～3年間に生涯学習活動をしていない理由】

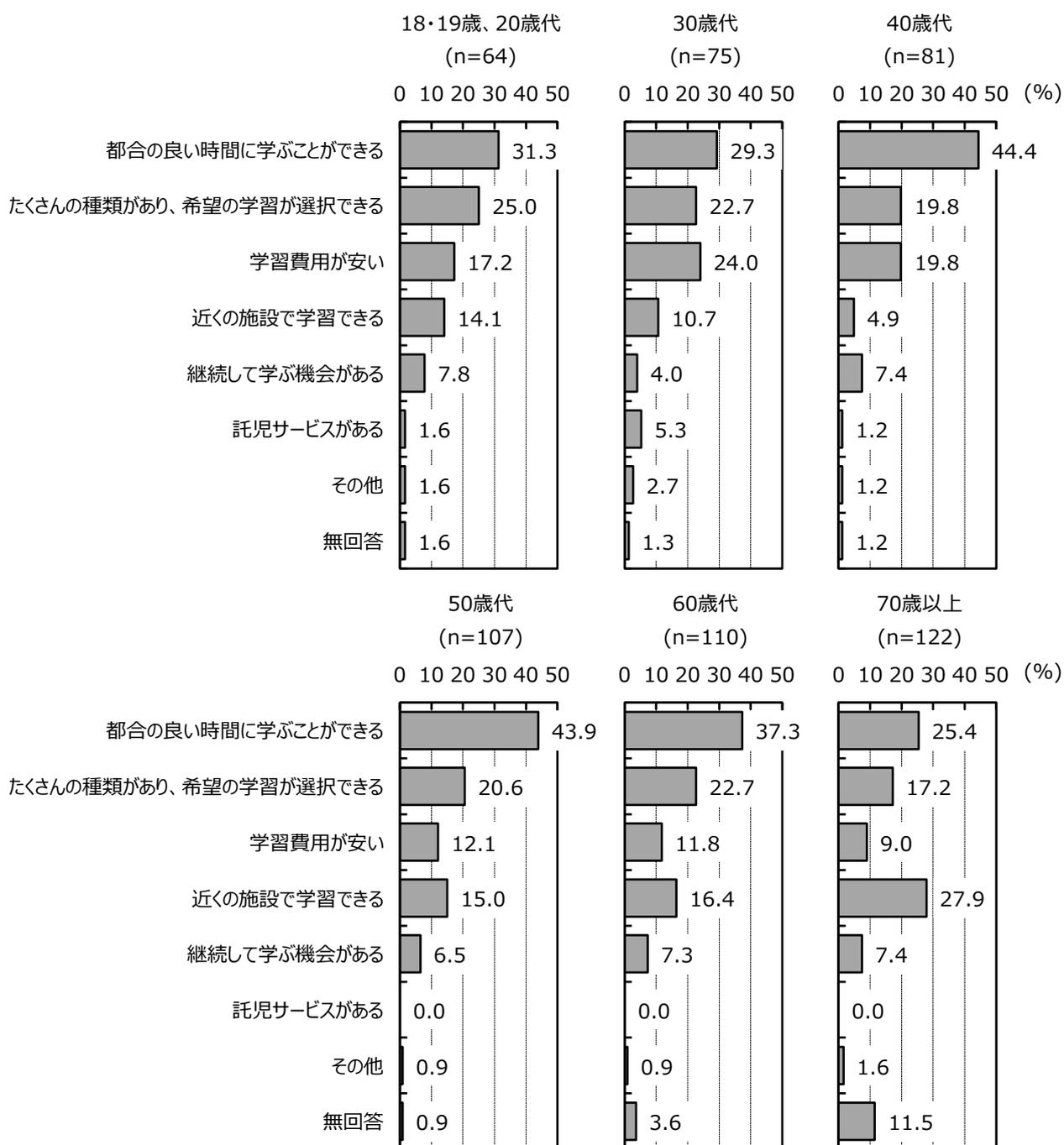


資料：令和元年度生涯学習に関する市民アンケート調査（nは回答者数）

③ 市の講座・教室に求めること

市の講座・教室に参加する上で重視することについて年代別で見ると、「《60 歳代以下》」は「都合の良い時間に学ぶことができる」が最も高くなっています。一方で、「《70 歳以上》」では、「近くの施設で学習できる」が最も高くなっています。「都合の良い時間に学ぶことができる」の割合は特に《40 歳代》、《50 歳代》で高い傾向にあります。また、「《30 歳代》」では「学習費用が安い」の割合も比較的高くなっています（24.0%）。

【市の講座・教室に参加する上で重視すること】



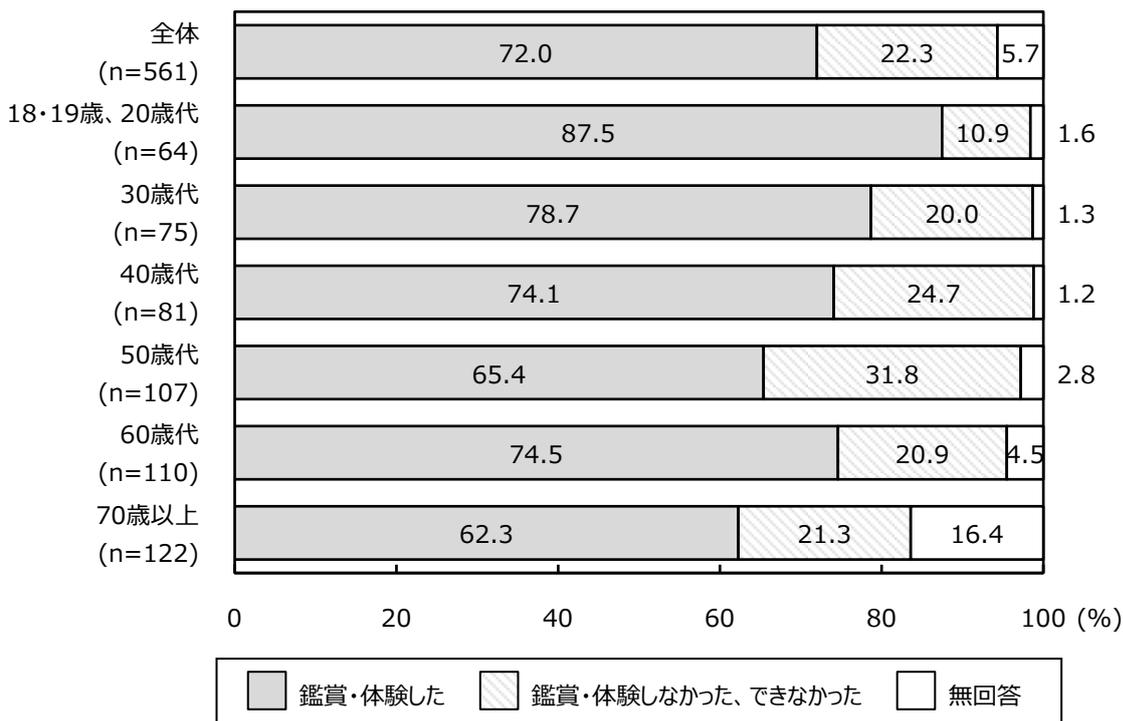
資料：令和元年度生涯学習に関する市民アンケート調査（nは回答者数）

④ 文化・芸術活動の状況

この2～3年間の文化芸術の鑑賞・体験の有無については、「鑑賞・体験した」が72.0%と、「鑑賞・体験しなかった・できなかった」が22.3%となっています。

「鑑賞・体験した」の割合を年代別でみると、「18・19歳、20歳代」での割合が最も高く、87.5%となっています。割合が低いのは「50歳代」、「70歳以上」で、「50歳代」については「鑑賞・体験しなかった・できなかった」が30%以上となっています（31.8%）。

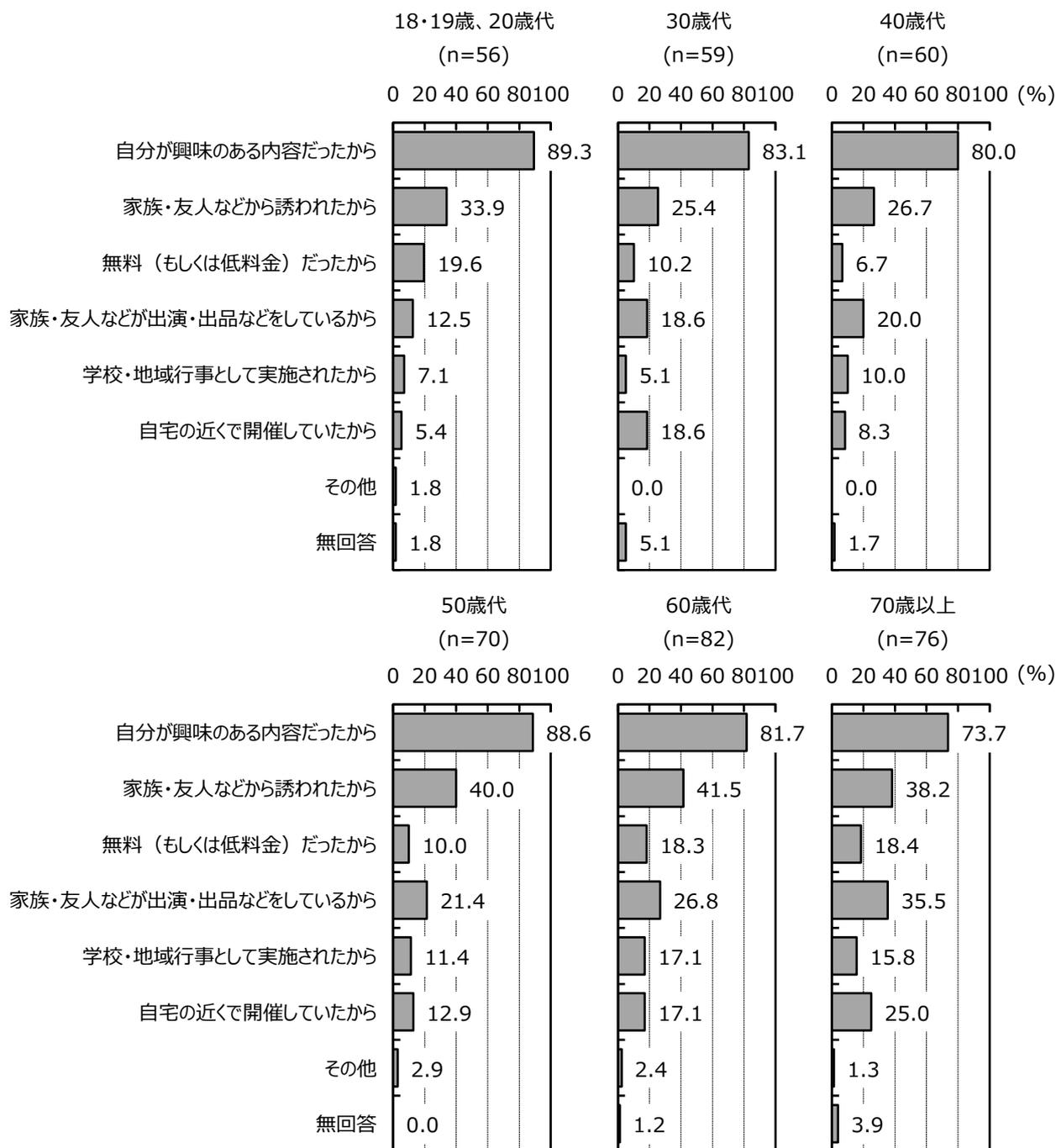
【この2～3年間の文化芸術の鑑賞・体験の有無】



資料：令和元年度生涯学習に関する市民アンケート調査（nは回答者数）

この2～3年間に文化芸術を鑑賞・体験した理由について年代別で見ると、どの年代も「自分が興味のある内容だったから」が最も高くなっています。次いで割合が高いのは「家族・友人などから誘われたから」となっており、特に《50歳代》以上での割合が高い傾向にあります。

【この2～3年間に文化芸術を鑑賞・体験した理由】

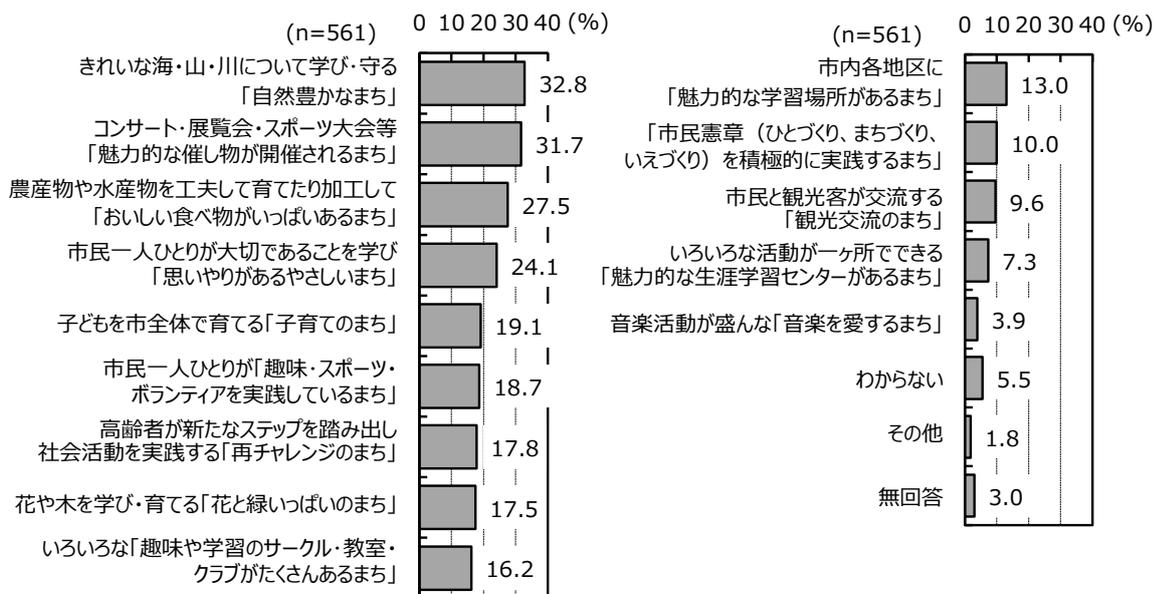


資料：令和元年度生涯学習に関する市民アンケート調査（nは回答者数）
 (注) 回答は複数回答

⑤ 蒲郡市の将来像

将来の蒲郡のイメージについては、「きれいな海・山・川について学び・守る「自然豊かなまち」」が32.8%と最も高く、次いで、「コンサート・展覧会・スポーツ大会等「魅力的な催し物が開催されるまち」」が31.7%、「農産物や水産物を工夫して育てたり加工して「おいしい食べ物がいっぱいあるまち」」が27.5%となっており、生涯学習に関する項目が上位を占めています。

【将来の蒲郡のイメージ】



資料：令和元年度生涯学習に関する市民アンケート調査（nは回答者数）
 （注）回答は複数回答

2 「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」の進捗状況

基本目標1 学びの場づくり

■ 基本施策1 学習の情報提供

広報がまごおり、ホームページ、ポスター、チラシ等による周知を行ってきましたが、デジタルツールを活用した情報発信に対するニーズが高まっています。

そのほか、市民に分かりやすく情報を伝えられるよう、「生涯学習ガイドブック」や「団体・サークル紹介誌」を作成しました。より多くの人々が市内の講座やイベントを知ることができるよう、ガイドブックの情報はホームページにも掲載しています。スポーツに関する情報発信としては、令和元年度に市内の公園やスポーツができる施設、スポーツ少年団等の情報を掲載した「蒲郡市運動・スポーツマップ」を作成し、地域の公民館に配置するとともに子育て中の世代に配布しています。

学習ニーズの把握としては、講座開催時におけるアンケートや市民アンケートの実施、市民ワークショップの実施等に取り組みましたが、参加していない世代のニーズの把握が難しいといった課題があります。

■ 基本施策2 学習機会の拡充

各ライフステージに応じた様々な学習機会の提供を行っていますが、内容によっては参加者の確保が難しい場合もあり、ニーズの把握と参加しやすい環境づくりが求められます。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和元年度、令和2年度については、参加人数に制限を設けたり、オンラインでの開催に切り替えたりして各種講座・教室を開催しましたが、オンライン開催については、「遠方に住んでいる人も視聴できる」、「リアルタイムで気軽に質問できる」といった肯定的な意見もあがっています。

■ 基本施策3 生涯スポーツ活動の推進

誰もが気軽にスポーツに親しめるように、親子ふれあい広場や幼児教室、公民館におけるクラブ・サークル活動、高齢者グラウンドゴルフ大会等、様々な運動機会の提供を行いました。そのほかにスポーツ少年団の支援も行っています。

施設整備面では全体的に老朽化が進んでおり、計画的な整備を進める必要があります。**学校施設利用の仕組みの簡素化については取り組みが進んでいない状況です。**

■ 基本施策4 文化・芸術活動の充実

宝くじ公演や NHK 関連の事業等、多種多様な文化関連の事業を実施し、優れた芸術作品や芸術活動を鑑賞する機会の提供を行うとともに、文化芸術をより身近に感じてもらうための取り組みとして出前講座等を実施していますが、同じ内容で数年間実施している為、一度受講した人のさらなる学びにつながる講座の企画が必要になっています。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により公民館や高齢者施設入所者を対象とした出前講座の依頼が激減しています。

そのほか、蒲郡市文化協会の協力により、市民文化祭や春の文協まつりなど、市民団体等の活動成果の発表の場の提供を行ったり、まちへの愛着や誇りの形成につながるよう、まちの歴史等を学ぶための出前講座の実施などに取り組みました。しかしながら、各地域にまつわる伝統文化や郷土芸能の後継者の育成については取り組みが進んでいない状況です。

基本目標2 学びを活かす体制づくり

■ 基本施策1 活動団体への支援

公民館での代表者会議において各クラブ間で情報交換を行ったり、公民館まつりにおいて相互の活動を鑑賞し合うなど、公民館同士の情報共有を図っていますが、情報交換や交流の場が少ないことが課題となっています。

そのほか、市民団体や地域づくりに参加している市民の交流の場として、まちづくりびと賀詞交換会を開催していますが、より多くの参加に向けて幅広い世代への周知が必要になっています。

また、生涯学習で学んだことを地域で活かす機会の提供や市民の参加のきっかけとなる場の提供に向けて、蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSSL）同士や他団体との交流の場の創出が求められています。

■ 基本施策2 公民館活動の充実

さまざまな年代の人に対し、教養講座や家庭教育学級、地域課題対応学習等、多様な学習の機会の提供を行っていますが、趣味の講座が多く、地域課題対応の学習が少ない状況にあります。現在は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年より市民講座開催数や参加者数が全体的に減少しており、今後は感染症対策を考慮した講座等を企画し、安全性を周知することが求められています。

また、公民館に対する市民の多様なニーズに対応できる体制の構築に向けて、令和2年度に「蒲郡市公民館のあり方について（公民館グランドデザイン）」を策定しました。

■ 基本施策3 学習成果の発表機会

市民文化祭や公民館まつり、春の文協まつりなど、日ごろ活動している生涯学習の成果を発表する機会の充実に取り組んでいますが、団体に所属していない人の発表の場が少ないなどの課題があります。

基本目標3 学びの環境づくり

■ 基本施策1 生涯学習指導者やボランティアの育成・活用

過去お世話になった研究専門企業等を伝手に、イベント講師をお願いできる若い世代の研究者の発掘・確保を行っています。

ボランティアの育成に向けては、蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSSL）のパフレットを作成して各課公所へ配布し、活動の周知を図っています。平成 31 年度からは蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSSL）の活動の場を広げることができるよう、会員が活動を企画する「市民企画講座」を実施しています。

■ 基本施策2 社会教育施設の整備充実

社会教育施設の老朽化が進んでいるため、令和元年度には個別施設計画を策定し、空調を順次更新するなど整備を進めています。

市民会館においては指定管理者と協力し、通常の修繕や改修に加え、利用者の利便性向上や生涯学習活動に有効な設備の設置・改修工事を行っています。今後の市民会館のあり方を市民とともに議論し、そのあり方に基づいて整備計画を立てていく必要があります。

そのほか、学校と地域が連携した学習環境の整備に向けて学校体育施設開放事業を行っています。令和 2 年度から新たに西浦中学校を追加したことにより、全小中学校において学校体育施設開放が行われるようになりました。また、中部中学校、形原小学校、塩津中学校、三谷中学校の 4 校で学校開放講座を実施しましたが、内容のマンネリ化や施設開放の周知不足などが課題となっており、さらなる活用に向けた取り組みの展開が求められています。

■ 基本施策3 関係機関との連携による学習の促進

地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動ができるよう、令和元年度より、幅広い地域住民等の参画を得て地域全体で子供たちの学びや成長を支える「地域学校協働活動事業」を開始しています。今後は実施回数を増やしていくことを目標としていますが、地域人材の拡充や実施場所の検討、公民館への協力呼びかけなどが必要になっています。

また、愛知大学や愛知工科大学、市内の企業との連携により、専門的な学習機会の提供を行っていますが、さらなる連携を図り、まちの強みを生かした生涯学習の推進につなげていく必要があります。

市民の生涯学習活動の中心拠点としての生涯学習センター機能の整備については、「蒲郡市公民館のあり方について（公民館ランドデザイン）」に基づき、新設される中央公民館における整備を目指しています。

3 生涯学習の推進にあたっての課題

統計データやアンケート調査結果、ワークショップ、団体・企業ヒアリングから把握した現状や課題は以下のとおりです。

(1) 統計データからみた現状・課題

- 人口減少、少子高齢化が進展しており、世帯の小規模化が進んでいる。一方で、外国人人口はおおむね増加傾向にある。
- 常会加入率や子ども会加入率が減少傾向にあり、友愛クラブ（老人クラブ）会員数も減少している。

(2) アンケート調査結果からみた現状・課題

【生涯学習の必要性に対する意識】

- 生涯学習を必要だと感じている人は80%以上となっている。
- 働き盛り世代（30歳代・40歳代）では、生涯学習が必要だという意識が他の世代に比べて低い傾向にある。
- 30歳代以下の若い世代では余暇の活用や充実のために生涯学習が必要だと考える人が多い。40歳代では仲間づくりや出会い・交流のため、50歳代以上では生きがいを持つためと回答する人が多い。

【生涯学習活動の状況】

- 生涯学習の必要性を感じながらも希望通り活動を実践できていない人が30%程度となっており、特に50歳代、60歳代で多い傾向にある。
- 希望通り活動が実践できなかった主な理由は、「時間が合わない」や「実施しているのかわからないのか分からない（情報不足）」で、特に30歳代～60歳代といった仕事や家庭で忙しい人が多い世代にとっては時間が合わないことが一番の課題となっており、都合のよい時に学べる環境が求められている。若い世代では生涯学習に関する情報不足が一番の課題となっている。また、多様な学習機会があり、自由な選択ができる点が求められている。
- 生涯学習活動をしていない理由として何をすればいいのかわからないという人も比較的多くなっており、気軽に始められるきっかけが必要になっている。また、60歳代では活動に関する情報が不足しているという人が他の年代に比べて多くなっています。

【文化芸術】

- この2～3年間に何らかの文化芸術を鑑賞・体験した人は約70%となっている。
- この2～3年間に文化芸術を鑑賞・体験した理由としては、「自分が興味のある内容だったから」、「家族・友人などから誘われたから」をあげる人が多くなっており、自分の興味以外では、家族や友人の誘いがきっかけとなったケースが多い。

(3) 「蒲都市生涯学習推進計画 2017」の進捗状況からみた現状・課題

- 今後は多様なツールを積極的に活用し、効果的な発信を行っていく必要があります。また、若い世代のアンケート回収率を上げるなど、幅広い年代のニーズを把握できる方法を検討していく必要があります。
- 誰もが参加しやすい環境に向けて、学習内容や開催方法等の検討を進めることが必要です。
- より気軽に学習活動に参加できるよう、生涯学習施設の利用手続きの簡素化が求められます。
- 活力あるまちづくりに向けて、市の産業を担う人材の育成など、まちの強みを生かした学習の推進が求められます。
- 地域課題対応学習の充実を図り、生涯学習を生かしたまちづくりを進める必要があります。
- 文化芸術のまちづくりに向けて、文化芸術活動のさらなる充実と、文化芸術を担う人材の育成に取り組んでいく必要があります。
- 団体に所属していなくても学習の成果を発表したり、市で活動している人たちとつながることができる場の創出が求められています。また、団体間の交流の場の拡充にも取り組む必要があります。

(4) ワークショップでの意見

【生涯学習に対する意識】

- 生涯学習と言われてもピンとこない。今まで生涯学習について知る機会がなかった。
- 「生涯学習」は身近な言葉ではないので、「生涯学習とは何か」から始める必要がある。

【生涯学習活動への参加】

- 参加したいと思える活動がない。参加型の講座の対象者が少ない。
- 何かをしたいと思ってもどこへ問い合わせをしたらいいのかわからない。
- たくさんの人が参加することが大切で、参加者が偏らないようにしてほしい。
- 現役世代も無理なく参加できる環境があるとよい。

【生涯学習施設の利用】

- 公民館はいつも使っている人がいるので気軽に使えない。
- 他市町村に比べて、公民館など利用制限が厳しい。学習機会を発表する場が少ない。
- 科学館の講座は市外、県外からの参加者が多い。蒲郡市民の参加を促すことが大事。

【必要な生涯学習活動】

- 地域との連携と生涯学習を結びつけた活動がほしい。まちづくりにつながる生涯学習活動が必要。
- まちを活気づけられるような取り組みを市が提案し、年齢・性別を超えて一緒に活動ができると良い。
- 地域とのつながりを大切にした企画があればよい。他所から来た人にとって蒲郡市は馴染みにくいところがあるので、生涯学習の場が、転入してきた人にとってコミュニティ構築の場となるようにしたい。

【情報提供】

- 自治会に入っていないと広報が配布されないなど、転入者は情報を入手しづらい。

(5) 団体・企業ヒアリングでの意見

- 色々な視点を持つと、どの団体・企業とも協力して活動を行えると思う。つながりをつくることが大事。
- 公民館で各活動団体の紹介はしているが、それが行き渡っていないように思う。活動をつなげるには情報を行き渡らせることが大切。
- 市民が市で行っている生涯学習活動を知る機会があると参加が進むと思う。
- 蒲郡と言えば「魚」だが、住む地域によっては意識の差がある。蒲郡の産業について知る場があればよい。
- 蒲郡市の活性化につながる学習活動ができればよい。
- 市民を対象とした活動をしていても参加する人が減少している傾向にある。
- 他所から嫁いできた人は周りに助けてくれる人が少なく、活動が地域とのつながりとなっている人が多い。
- 企業が提供する学習活動の取り組みに外部の金銭的補助があると活動しやすい。営利目的の企業では活動に限界がある。
- 蒲郡市はコロナ禍においての活動制限の基準が厳しいように思う。

4 生涯学習の推進にあたって必要な視点

社会潮流や蒲郡市の現状・課題をふまえると、生涯学習の推進に必要な主な視点は以下のとおりです。

(1) 「人生 100 年時代」・「Society5.0」に向けた学習活動

医療体制の充実、医学の進歩、生活水準の向上等により、平均寿命は著しく伸長し、人生 100 年時代の到来が予想される中、長い人生をより豊かに充実したものにするためには生涯にわたる多様な学習の機会や優れた文化芸術に親しむ機会が重要となります。さらには人工知能（AI）や IoT の進展等の急速な技術革新によって、「Society5.0」という新たな時代が到来すると言われています。そのような中、急速に変化し続ける社会に対応しながら、それぞれの能力や可能性を最大限引き出し、多様な個性を伸ばす「人づくり」の推進がますます重要になっています。

(2) 誰もが参加しやすい学習機会

市民が学習したり、文化・芸術に親しむためには、身近な場で気軽に参加できる環境づくりが不可欠です。ワークショップでは「生涯学習という言葉自体になじみがない」といった意見もでており、生涯学習の意義を周知していくほか、参加するきっかけづくり、魅力ある多様な学習機会、ライフスタイルに合った学習環境の提供が求められています。

また、令和元年度末に発生した新型コロナウイルス感染症が拡大の影響で、生涯学習施設の利用や学習活動への参加が難しい状況にあります。感染対策を意識した「新しい生活様式」が求められる中、今後どのように生涯学習活動を推進していくのが重要な視点となります。

(3) 利用しやすい生涯学習施設

市内には市民会館や公民館の他、勤労福祉会館、生きがいセンターなど生涯学習に関連する施設が数多くあります。ワークショップでは、特に「市民会館や公民館が利用しにくい、施設が古い」といった意見があがっており、生涯学習施設については、市民が利用しやすい環境を整備していく必要があります。公民館においては、令和 3 年 3 月に策定した「蒲郡市公民館のあり方（公民館グランドデザイン）」に基づき、主として「社会教育機能」を果たす公民館（中央公民館）と、主として「地域交流拠点機能」を果たす公民館（地区公民館）と、それぞれの役割に応じた活用を進めていく必要があります。

(4) 多世代・多文化交流と地域活性化の推進

生涯学習活動を通じて地域住民が交流することは、新たな地域のつながりときずなを生み出します。また、多様な世代が参加できる機会を提供することで、世代を超えた縦のつながりも生み出し、お互いの視点を生かして地域に対する認識を共有することも期待できるため、多世代が交流できる学びの場は地域の活性化において重要な役割を担っています。また、少子化に伴う労働者の減少やグローバル化の進展等により、外国人住民のさらなる増加が予想される中においては、多文化共生の視点から生涯学習を推進する必要があります。そのほか、地域の活性化に向けては、まちの産業と生涯学習をつなげる取り組みを推進していくことも重要です。

また、少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの衰退、貧困と格差など社会を取り巻く環境の変化に伴い地域の生活課題が多様化・複雑化する中において、生涯学習が市民の地域参加のきっかけとなり、地域の課題解決の一翼を担う役割を果たしていくことが期待されています。

1 基本理念

豊かな学びと文化でつなぐ 地域のきずな

～ 一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり ～

「第五次蒲郡市総合計画」における将来都市像のキーワードとして「一人ひとり輝く」、「つながりあう」が掲げられています。「一人ひとり輝く」ためには学びは不可欠であり、文化芸術に親しむことは一人ひとりに夢と活力を与えてくれます。また、一人ひとりが学んだ知識や経験が地域で生かされることで、学びを軸とした交流が生まれ、地域のきずなが強まり、地域住民が一体となったまちづくりが展開されます。

本市では、一人ひとりが主体的に学び、その学びが地域とつながることで、活力のあるまちづくりを実現することを目指しています。こうした考え方にに基づき、市民憲章の考え方を踏まえた上で、本計画の基本理念を「豊かな学びと文化でつなぐ 地域のきずな ～ 一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり～」とし、生涯学習のまちづくりを推進していきます。

2 基本方針

基本理念の実現に向けて、次の4つの基本方針を設定します。

基本方針1 学びの場づくり

ライフスタイルや価値観の多様化、「人生100年時代」、「Society5.0」の到来に向け、市民一人ひとりのニーズやこれからの社会に必要な視点に対応した学習の機会の提供に取り組みます。

基本方針2 学びの環境づくり

性別や年齢、障害の有無等にかかわらず、誰もが学習活動等に参加できるよう、すべての人がいつでもどこでも学ぶことのできる環境づくり、学習成果を発表できる環境づくりに取り組みます。

基本方針3 学びを支える基盤づくり

学びの中核施設として公民館機能の強化や生涯学習施設の整備充実に取り組みます。また、地域の活動団体や企業等の生涯学習活動を支援するとともに、互いの活動がつながる仕組みづくりに取り組みます。

基本方針4 学びを通じたまちづくり

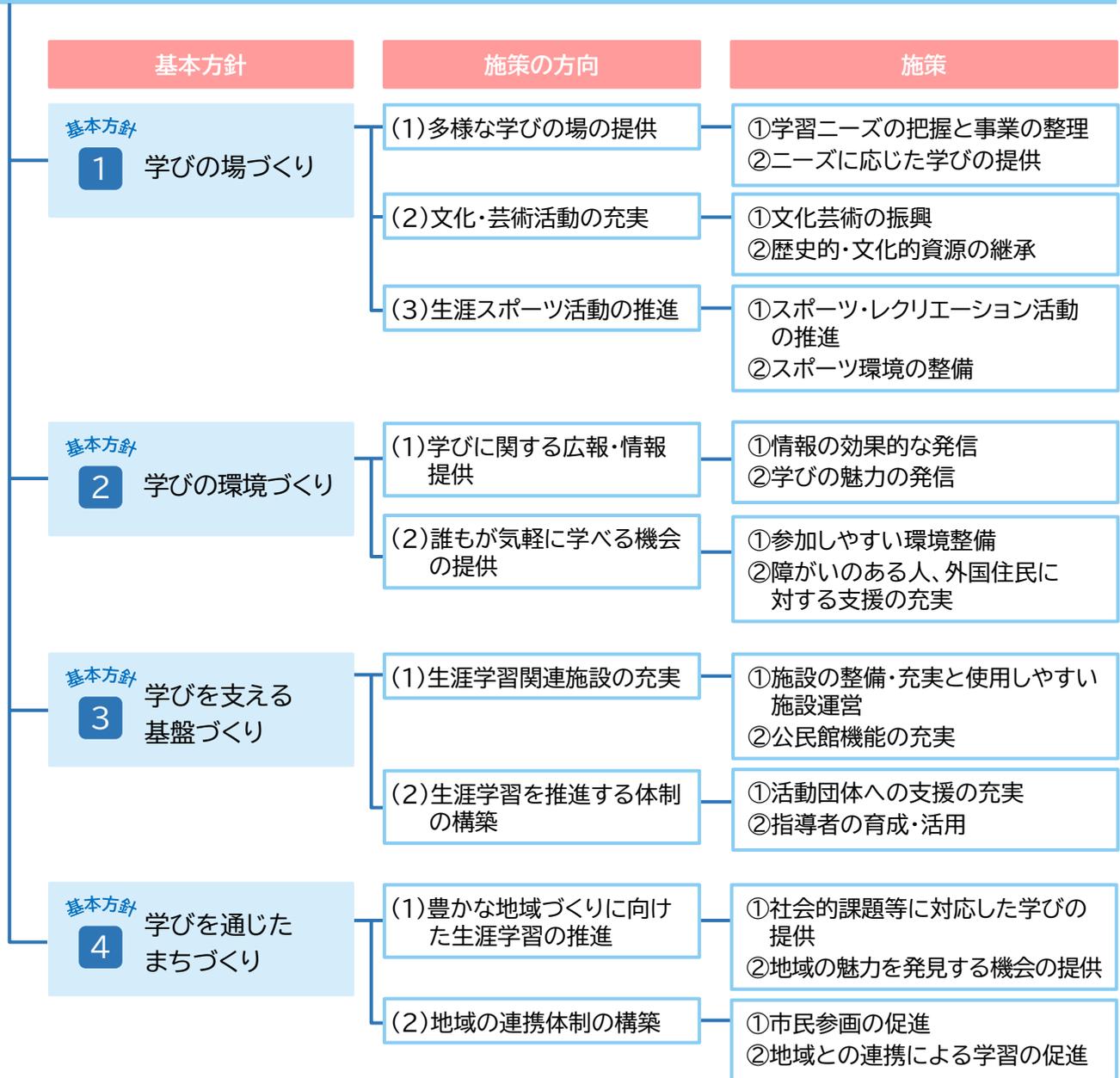
一人ひとりの学びの成果が地域課題の解決やまちの活性化に役立つものとなるよう、その仕組みづくりに取り組みます。また、生涯学習が地域コミュニティの基盤となるまちづくりを進めます。

3 施策体系

基本理念

豊かな学びと文化でつなぐ 地域のきずな

～ 一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり ～



基本方針 1 学びの場づくり

(1) 多様な学びの場の提供

- 市民の学習ニーズの把握と生涯学習事業の整理を行います。
- 多様な学習の機会の提供を行います。

成果目標

指標	基準値	目標値
市民アンケートの回収率	35.5% (令和2年度)	
この2、3年に生涯学習活動を実践した人の割合	42.6% (令和2年度)	
生涯学習活動に満足している割合	15.0% (令和●年度)	

行動目標

指標	基準値	目標値
公民館における生涯学習講座の実施回数		
ICT※の活用に関する講座の実施回数		
リカレント教育※に関する講座の実施回数		

用語解説

※ICT

Information & Communications Technology の略で、情報通信技術と訳される。コンピュータやデータ通信に関する技術を総称的に表すことばとしては、これまで「IT」が用いられてきたが、国際的には ICT という呼称が定着している。IT は技術そのものを指すのに対し、ICT ではその技術の使い方や活用方法なども含むことが一般的となっている。

※リカレント教育

「社会人の学びなおし」のことで、主に学校教育を終えたの社会人が大学等の教育機関を利用して、生涯を通じて学び続けていくことをリカレント教育という。

施策① 学習ニーズの把握と事業の整理

本市では様々な学習の機会を提供していますが、市民アンケートでは市の講座・教室の実施に対し「たくさん種類があり、希望の学習が選択できること」を望む人も多く、市民ワークショップでは「参加したいと思える活動がない」といった意見もあがっています。市民の生涯学習への参加が進むよう、ライフスタイルや価値観の変化、社会経済状況の変化等により多様化する市民のニーズをしっかりと把握していきます。また、行政が実施している生涯学習関連事業の整理をすることにより、効率的・効果的な事業の推進、市民に分かりやすい事業展開を目指します。

具体的施策	内容
市民の学習ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもから高齢者までのライフステージごとのニーズに応じた学習、時代のニーズに即した学習が提供できるよう、講座開催時のアンケートや市民アンケート等のさまざまな機会を捉えて学習ニーズの把握に努めます。
生涯学習関連事業の整理	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の各部局が実施する生涯学習関連事業の一元管理を目指し、事業の洗い出し、整理を行います ● 市の生涯学習関連事業の情報を必要に応じて整理・統合し、一体的な推進を図ります。

施策② ニーズに応じた学びの提供

市民一人ひとりがいまいきと充実した心豊かな生活を送るためには、乳幼児期から高齢期まで生涯にわたり、主体的に学ぶことが大切です。ライフステージのニーズや課題に応じた学習や趣味・教養を深めるための学習、時代の変化に対応した学習等、多様な学習の機会の提供を行います。

具体的施策	内容	
ライフステージに応じた学習機会の提供	乳幼児期（子育て期）	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子で楽しんだり、子育て期の親子が交流できるイベント、子育て講座等の場を提供します。 ● 学習内容の充実に努め、子どもの健全育成と保護者の子育て力・家庭の教育力の向上を図ります。
	学童期・青少年期	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校や地域との連携により、豊かな人間性や協調性を培うための体験活動や世代間の交流活動の機会を提供するとともに、児童・生徒が興味を持てる内容となるよう工夫を行います。 ● 学生が地域で力を発揮することができるよう、学生による地域課題解決型学習の機会を提供します。
	成人期	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育てや介護、家庭生活に関する講座をはじめ、自身のキャリアアップやライフワークの充実につながる学習の提供を行います。
	高齢期	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢期において、健康で活力ある毎日を過ごすことができるよう、身近な場における健康、趣味、生きがいづくりに関する講座・教室の拡充を図ります。

具体的施策	内容
趣味・教養のための学びの提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分らしくいきいきと豊かな人生を過ごすことができるよう、趣味や教養を深めるための学習機会の提供を行います。
新しい知識・技術に関する学びの提供	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT 等に代表される新しい知識や技術を学ぶ機会の提供に努めます。 ● ICT の利用ができない人に対して学習機会を提供し、デジタル・デバイド[※]の解消に努めます。

(2) 文化・芸術活動の充実

- 文化芸術活動の活性化を目指します。
- 文化芸術活動や郷土の歴史伝統を生かし、まちづくりへとつなげます。
- 郷土の歴史と伝統の継承により、郷土への愛着や誇りを醸成します。

成果目標

指標	基準値	目標値
この2、3年に文化芸術を鑑賞したり体験したりした人の割合	72.0% (令和2年度)	
文化活動や文化の継承について満足している割合		

行動目標

指標	基準値	目標値
文化協会の出前講座開催数		
博物館の出前講座開催数		
観光コンシェルジュ認定講座受講者数（観光）		
観光と連携した成果発表の実施回数		
文化財保護・保全団体数（博物館）		

施策① 文化芸術の振興

社会の成熟が進み、価値観の多様化が進む中、豊かな潤いのある生活を実現するためには、優れた芸術や文化に触れる機会が求められており、本市においては文化協会を中心として、春の文協まつりや市民文化祭をはじめ、各種文化講座等、多彩な活動を行っています。

さらなる文化芸術の振興に向けて、市民が優れた文化や芸術に触れる機会や異文化交流の充実を図り、市民の主体的な文化芸術活動の活性化を推進するとともに、発表の機会の拡大や文化団体への活動支援の強化を行っていきます。

また、本市の歴史や伝統にふれる機会やまちの良さを再発見する機会の充実を図り、歴史文化を活かしたまちづくりをめざします。

具体的施策	内容
多彩な文化芸術にふれる機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な環境で文化芸術にふれ、親しむことができるよう、文化施設等において優れた芸術作品や芸術活動を鑑賞する機会の充実を図ります。 ●市民の文化芸術への興味・関心が高まるよう、学校等と連携し、子どもの頃から文化芸術にふれる機会の提供に努めます。
文化芸術活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術活動を担う個人や団体が活動しやすい環境の整備を図るとともに、さまざまな施設を活用して、活動の成果を発表する機会の充実を図ります。 ●障がいのある人が気軽に文化芸術にふれることができるよう、障がいのある人の活動を支える人材の育成を図るとともに、文化芸術鑑賞のためのバリアフリー化、自由に表現活動が行える環境の整備に取り組めます。
様々な文化交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な文化を持った人、多様な世代が交流する機会の充実を図り、文化芸術活動への参加の裾野を広げ、活動の活性化を図ります。
文化芸術活動と連携したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●市の文化芸術や歴史を学んだ人が、観光分野などで活躍する仕組みを作ることで、市民の成果発表の場を提供するとともに、本市ならではの魅力や新たな価値の創出につなげます。

施策② 歴史的・文化的資源の継承

本市には今日まで受け継がれてきた数多くの歴史文化遺産が存在し、これらは郷土の歴史と伝統を伝え、これからの文化を創造するうえで欠くことのできない財産であり、地域の宝物ともいえるものです。

こうした市の豊かな歴史・文化を次世代に引き継いでいくために、市の文化財の保護・保全と担い手の育成に取り組むとともに、本市の歴史や伝統にふれる機会やまちの良さを再発見する機会の充実を図り、歴史文化を活かしたまちづくりをめざします。

具体的施策	内容
まちの歴史を知る機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の地域への愛着心やまちへの誇りの醸成につながるよう、学校教育において歴史的・文化的資源の価値を学ぶ機会を提供します。 ●公民館だより等を通じて、地元の伝統行事の紹介、周知をするほか、公民館の講座や出前講座等によって郷土の歴史や伝統を学ぶ機会を提供します。
文化財の保護・保全と担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の計画的な保護・保全を図るとともに、市及び各地域にまつわる伝統文化や郷土芸能を支援・保護し、後継者の育成に努めます。

(3) 生涯スポーツ活動の推進

- 市民のニーズや年齢、体力に応じた生涯スポーツの推進をめざします。
- 市民が地域で身近にスポーツ活動に取り組めるよう、環境の整備を進めます。

成果目標

指標	基準値	目標値
スポーツ施設の整備に関する満足度	-0.18	
スポーツ施設利用者数	432,962 人	

行動目標

指標	基準値	目標値
ニュースポーツの出前講座開催数		
各種スポーツ教室の開催回数		

施策① スポーツ・レクリエーション活動の推進

スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものにしてくれるだけでなく、健康づくりやストレス解消にも大きな役割を果たしています。急激な高齢化や便利な生活によって体を動かす機会が減少する中において、「スポーツライフ」が大きな意義を持っていることを踏まえながら誰もが気軽にスポーツに参加することができるよう、市民のニーズに応じたさまざまな教室や各種イベント等を通じて、生涯スポーツの推進をめざします。

また、地域のつながりづくり、まちの活性化という視点からもスポーツは重要な要素となるため、市民のスポーツ機会の創出やスポーツ環境の整備を通じて、スポーツの持つ魅力を発信し、スポーツやレクリエーション活動を通じた交流により、元気な声が響きあうまちを実現します。

具体的施策	内容
スポーツ・レクリエーション活動の推進	● 様々なスポーツをそれぞれのレベルに合わせて参加できる環境を整備し、スポーツ・レクリエーション活動を推進します。
ニュースポーツの普及促進	● 乳幼児から高齢者まで、それぞれの体力や障がいの有無に関わらず誰もが気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができるよう、多世代が楽しめるニュースポーツの普及を促進します。
スポーツを通じた地域交流の促進	● 地域スポーツクラブの育成やスポーツを通じた交流の場の提供など、市民がコミュニティ活動の一環としてスポーツを楽しむことのできる機会を提供します。

施策② スポーツ環境の整備

市民が気軽にスポーツを楽しむためには、スポーツ環境の整備が欠かせません。市民がいつでも、どこでも、誰でもスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、スポーツ施設の機能・設備の充実を図るとともに、運動施設や運動環境の情報提供を行います。

また、スポーツ施設バリアフリー化や施設利用に関する手続きの簡素化を図るなど、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組みます。

具体的施策	内容
スポーツ施設の充実等	<ul style="list-style-type: none">● 計画的に体育館や武道場、公園グラウンドなど施設整備を図ります。● 各地域においてニュースポーツに気軽に取り組めるよう、備品・用具を充実させることで、生涯にわたり快適にスポーツを楽しめる環境を整えます。● すべての市民が安心してスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるよう、スポーツ施設のバリアフリー化を推進します。
地域資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none">● 市民が地域で身近にスポーツ活動に取り組むことができるよう、学校体育施設の利用促進を図ります。
がまごおり・運動スポーツマップの配布	<ul style="list-style-type: none">● 市民が身近な場で気軽に運動やスポーツができるよう、運動スポーツマップを配布し、市内の公園やウォーキングロード等、個別で運動できる場所等を紹介します。

基本方針 2 学びの環境づくり

(1) 学びに関する広報・情報提供

- 市が実施する講座・イベント等の情報を発信します。
- 活動内容や参加することのメリット等の周知に取り組みます。

成果目標

指標	基準値	目標値
生涯学習が必要だと思う人の割合	85.5% (令和2年度)	

行動目標

指標	基準値	目標値
公民館ホームページへのアクセス数		

施策① 情報の効果的な発信

市民の生涯学習活動への参加を促すためには、ニーズにあった魅力的な学習プログラムを提供するだけでなく、その情報を広く行き渡らせることが重要になります。

インターネットの普及や ICT の発展等を背景に情報発信のデジタル化が進み、多くの世代でソーシャル・ネットワーキングサービス（SNS）等のアプリケーション・サービスの利用が浸透している中、従来の情報発信のみならず、多様で効果的な情報発信ができるよう、取り組みを進めます。

具体的施策	内容
多様なツール・手段による情報発信	● 広報がまごおりや市ホームページ等の既存のツールのほか、SNS 等の情報伝達ツールを積極的に活用し、市内で行っている生涯学習に関する情報を発信します。
公民館ホームページの開設	● 各公民館のホームページを開設し、施設の概要や利用方法について紹介するとともに SNS や情報誌の作成により、活動内容等を紹介します。

施策② 学びの魅力の発信

学ぶことの楽しさを知ることは生涯学習活動への参加の第一歩となります。生涯学習活動が市民一人ひとりにとって身近に感じることができるよう、また学びへの興味・関心から実践へとつながるよう、さまざまな機会・手法を活用して生涯学習の魅力を発信していきます。

具体的施策	内容
情報紙・SNS 等による情報発信	●生涯学習活動に参加していない市民にも活動に興味を持ってもらえるよう、生涯学習の魅力や学習して得られること、参加した人の声などを、公民館だよりや文化協会機関紙、SNS 等を活用して市民に紹介します。
蒲郡市文化・スポーツリーダーによる情報発信	●スポーツ、レクリエーション、文化活動の分野で、市民の活動を支援するボランティアである「蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSL）」の活動を通じ、生涯学習活動の魅力発信を行います。

(2) 誰もが気軽に学べる機会の提供

- 忙しい人でも参加できる学習の機会の提供に取り組めます。
- 障がいのある人や外国人住民が生涯学習活動に参加するための支援を行います。

成果目標

指標	基準値	目標値
生涯学習活動をしたと思った時に希望通り実践できた人の割合	57.9% (令和2年度)	

行動目標

指標	基準値	目標値
夜間講座の実施回数		
オンライン講座の実施回数		
日本語教室の開催回数		
日本人住民向けの外国語講座の開催回数		

施策① 参加しやすい環境整備

市民アンケートの結果では、時間がないという理由で生涯学習活動に参加できない人が多く、忙しい世代を中心に「都合の良い時間に学びたい」というニーズが高くなっています。

全ての市民が積極的に生涯学習活動に参加することができるよう、多様な学習スタイルの提供を行うとともに、活動するうえでの悩みなどに対する相談体制の充実を図ります。

具体的施策	内容
多様な学習スタイルの提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事や家庭に忙しい人が学習活動に参加しやすいよう、夜間や休日の開催の拡充を図ります。 ● 新型コロナウイルス等の感染症防止対策への配慮、若い世代や多忙な世代の参加促進の観点から、オンライン講座やオンライン動画による学習など、新しい学習スタイルの提供を進めます。
相談窓口の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習課等において、活動団体からの相談に応じるとともに、生涯学習を始めたい人に対する情報提供や相談を行います。

施策② 障がいのある人、外国住民に対する支援の充実

生涯学習社会の実現には、だれもがいつでも気軽に学べる環境づくりが不可欠ですが、障がいのある人や外国人住民に対するサポート体制が十分でないことなどが課題となっています。

障がいのある人や外国人住民のニーズに応じた学習機会の提供、学習情報へのアクセスへの支援、参加への多様な支援を充実させるなど、性別や年齢、障がいの有無、国籍にかかわらず、すべての市民がそれぞれのライフスタイルに合わせて学びたいときに学べる環境づくりに取り組みます。

具体的施策	内容
障がいのある人の生涯学習活動への支援	<ul style="list-style-type: none">● 障がいのある人が積極的に生涯学習に参加できるよう、学習方法や活動内容を工夫します。● 関係課と連携して手話通訳者の派遣等を行うとともに、生涯学習に関する情報提供や参加手続きの際においても、障がいに合わせた合理的配慮が行えるよう、職員同士の連携を図ります。
外国人住民の生涯学習活動への支援	<ul style="list-style-type: none">● 多文化共生に向け、外国人住民に対する日本人住民の理解を促進するとともに、外国人住民が生涯学習活動に参加できるよう、日本語教室をはじめとした支援を行います。

基本方針 3 学びを支える基盤づくり

(1) 生涯学習関連施設の充実

- 生涯学習施設の老朽化対策を進めるとともに、**利用しやすい施設運営を目指します。**
- 公民館の効果的な活用を推進します。

成果目標

指標	基準値	目標値
市の社会教育施設を利用している人の割合		
公民館利用率	中央公民館	
	地区公民館	
公民館講座参加者数		

行動目標

指標	基準値	目標値
中央公民館と地区公民館との意見交換の場		
中央公民館開催の講座開催回数		

施策① 施設の整備・充実と使用しやすい施設運営

公民館や市民会館などの生涯学習関連施設は、市民に学習活動の場や機会を提供するなど幅広い学習活動を支える重要な役割を担っており、本市においては、公民館や市民会館をはじめ、生きがいセンターや勤労福祉会館、文化広場、生命の海科学館、図書館、博物館など、様々な施設があります。

市民が身近な地域で生涯学習活動を行えるよう、施設や設備の整備・充実やバリアフリーの推進、施設運営の効率化などに引き続き取り組むとともに、生涯学習関連施設が市民にとってより親しみやすく利用しやすいものとなるよう、利用環境の改善を図っていきます。

具体的施策	内容
施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> 継続した学習活動が行えるよう、公民館や市民会館、図書館、文化広場といった生涯学習関連施設の適切な維持管理を行います。 各施設が市民にとってより使いやすくなるよう、バリアフリー化や Wi-Fi の導入など、必要に応じて整備・改修を進め、施設の充実を図ります。

具体的施策	内容
利用環境の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の生涯学習施設が市民に積極的に利用されるよう、利用環境の見直し、改善を行うとともに、各種施設の利用方法や事業等について広く周知を行います。

施策② 公民館機能の充実

公民館は地域における生涯学習の中核的な施設として地域の実情に応じた多様な学習機会の提供が行われていますが、時代とともに公民館に求められる役割は変化してきています。

令和3年3月に策定した「蒲郡市民公民館のあり方について（公民館ランドデザイン）」に基づき、魅力的な講座の実施、多様な学習機会の提供、交流を生み出し、地域と人がつながる機能という2つの視点から各公民館のさらなる活用を進め、公民館それぞれの役割に応じた機能の強化を図ります。

具体的施策	内容
中央公民館の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ●主に社会教育機能を担う公民館として、蒲郡市民会館内などに中央公民館を設置します。 ●中央公民館を全市民向けの生涯学習機会を提供する場とし、市民会館のホールや広い会議室を利用した大規模な講座や専門性の高い分野の講座、地元企業との連携講座など、多種多様な講座を実施します。
地区公民館の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ●各地区の公民館を、主に地域の交流拠点機能を担う公民館として位置付けます。 ●地区の公民館においては、講座開催やクラブ・サークルなどの活動を維持しつつ、高齢者の居場所、地域住民のふれあい活動、地域での子育て機能といった地域交流拠点機能の充実を図ります。 ●小中学校との連携により地域学校協働活動の拠点のひとつとして、地区公民館を活用します。

(2) 生涯学習を推進する体制の構築

- 生涯学習活動に関する相談支援体制の充実を図ります。
- 生涯学習活動を行う団体やサークル同士の情報交換の機会を作ります。

成果目標

指標	基準値	目標値
蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSSL）登録者数		
蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSSL）活動実績回数		

行動目標

指標	基準値	目標値
蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSSL）企画講座実施回数		
団体間交流の実施回数		
公民館のクラブ・サークルの紹介誌の発行回数		

施策① 活動団体への支援の充実

地域の特性を生かした生涯学習によるまちづくりを進めるには、地域における生涯学習活動に対する支援が不可欠であり、本市では、市民の活動へのきっかけづくりとして「生涯学習ガイドブック 団体・サークル紹介誌」や「蒲郡文化スポーツリーダーパンフレット」を毎年更新し、公共施設で配布するなどの支援を行っていますが、活動団体ヒアリングでは「活動の情報が行き渡っていない」といった意見があがっています。また、市民ワークショップでは「施設の利用制限が厳しい」「学習機会を発表する場が少ない」といった意見があり、活動情報の周知とともに、活動しやすい環境整備が求められています。

今後は市の社会教育機能を担う「中央公民館」に社会教育主事などの専門職員を配置することで、活動団体への支援体制の強化を図ります。また、活動団体同士が交流を深めることができるよう、様々な活動主体との交流の機会の提供に努めるなど、地域における学びのつながりを築くことをめざします。

具体的施策	内容
団体・サークルに関する情報の発信	● 市民が主体となって活躍している団体やサークルの活動状況を把握し、「生涯学習ガイドブック」等を活用して活動状況を広く市民に紹介します。
活動に関する相談支援	● 各団体やサークルに対し、生涯学習課やがまごおり市民まちづくりセンターにおいて情報提供や支援を行います。

具体的施策	内容
団体・サークル間の交流の促進	●市民がそれぞれの活動に参加するきっかけとなる場の提供などにより、市内で活動する生涯学習関係団体やサークル活動への支援を行います。また、公民館での代表者会議において各クラブ・サークル間の情報交換の場を設け、交流促進を図ります。

施策② 指導者の育成・活用

生涯学習の推進には、市民の学習活動を指導・助言するリーダーの存在が不可欠であり、多様な学習活動を展開するためには、様々な分野での指導者の発掘・育成を行っていく必要があります。

指導者がスキルを積む場の提供や指導者同士の情報交換の場の提供等により、指導者の育成に取り組むとともに、先進事例等を参考に指導者の活用を進める仕組みづくりを進めます。

具体的施策	内容
生涯学習活動指導者の育成	●地域における生涯学習活動の活発化を図るため、文化やスポーツ活動のリーダーである「蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSL）」の育成支援をはじめ、地域の生涯学習活動のリーダーの育成に取り組みます。
生涯学習活動指導者の活用	●市民からのさまざまな要請に応じることができるよう、専門的な知識や技能、経験を持つ人を生涯学習活動指導者として登録・活用する仕組みの構築を検討します。

基本方針 4 学びを通じたまちづくり

(1) 豊かな地域づくりに向けた生涯学習の推進

- 市民の地域の課題への関心を深める学習を充実します。
- 蒲郡市への誇りと愛着を持った人を増やします。
- 市の産業の活性化につながる学習の機会を充実します。

成果目標

指標	基準値	目標値
蒲郡市に対して愛着がある人の割合		
観光コンシェルジュ認定講座受講者数		
観光ボランティアガイド養成講座受講者数		
市民文化祭参加者数		

行動目標

指標	基準値	目標値
観光コンシェルジュ認定講座実施回数		
観光ボランティアガイド養成講座実施回数		

施策① 社会的課題等に対応した学びの提供

人口減少・少子高齢化が進む中において、市民生活を支えるために必要な支援の全てを行政が提供することは難しく、市民、地域、行政による自助・共助・公助の連携と協働が不可欠となっており、市民協働のまちづくり、地域共生社会の実現といった面からも生涯学習は重要なものとなっています。

本市では地域共生社会の実現に向けて、地域の福祉課題や安全・安心なまちづくりをテーマとした学習や市民ワークショップなどの地域課題解決型学習の機会の提供に努めていますが、参加者が少ない、参加者が固定化されているといった課題があります。

市民一人ひとりが地域に対して関心をもち、地域の課題を自分ごととして考えていくことができるよう、市民の意識向上や行動の変容につながる学習の充実や、市民自らが身近な課題解決に取り組んでいけるような学習の充実を図ります。

具体的施策	内容
共生社会の実現に向けた学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●年齢、性別、障がいの有無、国籍等に関わらず、誰もが自らの能力を發揮し、誰もが地域の担い手として地域を支えていく社会、誰もが排除されない社会の実現に向けて、人権や男女共同参画への理解、障がいや多文化共生への理解を深めるための学習の機会を提供します。
健康づくりに関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●人生100年時代と言われる中、市民が健康でいきいきと暮らせるよう、健康や生活習慣病予防に関する正しい知識を身につける機会や地域で健康づくりを実践する機会の提供に取り組みます。
環境に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化やごみ問題、生物多様性の危機などが問題となる中、一人ひとりが環境問題について正しい認識を持ち、環境に配慮した生活が過ごせるよう、環境問題や日々の暮らしと環境との接点を学ぶ機会を提供します。
防犯・防災に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のボランティアや警察等と協力して、安心して市民生活を送るために必要な防犯についての学習機会を提供します。 ●近年、毎年のように全国各地で自然災害が頻発していることを踏まえ、より多くの人々が日頃から災害に対する備えができるよう、防災に関する学習機会を提供します。
生活に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活に役立つ知識、生活の安全に関する知識を学ぶ機会の提供や市の施設見学の機会の提供を行います。
地域課題解決型学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が身近な課題に対して解決に取り組んでいくための学習活動を支援するとともに、市民が気軽に意見交換をし、知恵を出し合って地域の課題と解決方法を考える体験型学習の推進に取り組みます。

施策② 地域の魅力を発見する機会の提供

活力あるまちの実現には、市民一人ひとりが地域に関心を持つことが大切で、地域に関心を持つためには、地域を知り、まちの魅力を発見・再認識することが重要です。

市民のまちへの愛着を深め、一人ひとりの地域参加を進めるために、様々なジャンルからまちの魅力を学ぶ機会の提供を行います。

具体的施策	内容
学びを通じた交流の促進	<ul style="list-style-type: none">● 講座・イベントなどを活用し、生涯学習に参加する人同士の交流を促進するための機会の提供に取り組みます。● 生涯学習活動が新たな仲間づくりの場となるよう、子育て中の方や転入者、退職後の生活を過ごしている人などに対して活動の紹介を積極的に行います。● 活動団体、企業等がお互いの学びについて意見交換が行える機会の提供に努めます。
地域を学ぶ学習の充実	<ul style="list-style-type: none">● 地域の魅力の再発見やよりよいまちづくりのきっかけに向けて、市に縁のある人物や身近なまちの歴史、市の産業の魅力などを楽しみながら学ぶ機会を提供します。

(2) 地域の連携体制の構築

- 専門的な知識・技術を学ぶ機会や市の産業等について学ぶ機会の充実を図ります。
- 市民の学びの成果をまちづくりに生かすことができる場の創出に取り組みます。

成果目標

指標	基準値	目標値
ボランティア養成講座修了者数		
地域学校協働活動のボランティア数		
市民講師登録者数		

行動目標

指標	基準値	目標値
ボランティア養成講座実施回数		
大学・企業と連携した学習講座の実施回数		

施策① 市民参画の促進

地域のつながりの希薄化が進み、地域コミュニティの活性化や人と人との支え合いがこれまで以上に重要な課題となっている中において、生涯学習が個人の学習活動として終わるのではなく、地域コミュニティやまちづくりの基盤となることが期待されています。

また、学習で得られた知識や技術を地域に還元することは、学習をしている市民にもやりがいや喜びをもたらし、さらなる学習の動機づけにつながるため、自分が「学ぶ」だけでなく、自分が「教える」楽しみや生きがいを感じることができる場をつくるなど、市民が主体となった生涯学習の推進を図ります。

さらに、まちの活性化、持続的な発展を目指し、まちの魅力を市外に発信する人材の発掘・育成などに取り組みます。

具体的施策	内容
地域ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習関係団体やサークルとの連携やボランティア養成講座等の開催により、自らの知識や技能を生かして地域活動を行うボランティアの育成に取り組みます。 ● 各ボランティアが地域で活動ができるよう、マッチング機能の充実に取り組みます。

具体的施策	内容
学びの成果を地域に生かす仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験などを発表する機会の提供を行います。 ● 市民が学ぶだけでなく市民講師として活躍するなど、その学習成果を地域で生かし、地域の担い手として活躍できる場の創出に取り組みます。 ● 地域の魅力を学んだ人が市内外に向けて町の魅力を発信する機会を提供します。

施策② 地域との連携による学習の促進

生涯学習をまちづくりに生かしていく仕組みの構築には、地域のつながり・ネットワークの構築が不可欠です。本市においては、地元企業や大学と連携し、専門的見地を生かした生涯学習活動を地域で推進しており、さらなる活動の活性化に向けて、引き続き学校や関係団体、地域の大学・企業等との連携をより一層深め、様々な場面における多様な活動のつながりづくりを進めます。

具体的施策	内容
学校と地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校が地域における学習活動の拠点となるよう、地域が子どもたちを支援し、学校が地域のパートナーとして地域と連携・協働するといった、学校と地域が一体となった推進体制を強化します。
関係団体や大学・企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習関係団体や各サークル等による企画講座等、市民参加型の生涯学習事業の展開を図ります。 ● 多様化する市民の学習ニーズに対応するため、大学や企業と連携し、専門知識やノウハウを活用した専門的な学習機会の充実を図ります。

1 計画の推進体制

生涯学習のまちづくりにあたっては、市民の主体的な活動に加えて、地域団体や企業、教育機関などがそれぞれの強みを生かして連携・協働していくことが不可欠です。

本計画の推進に向けては、各主体が以下のような役割を担っていくことが求められます。

■ 市民の役割

主体的に生涯学習活動に取り組むとともに、自らがまちづくりの担い手である意識を持ち、地域との交流を深め、学習した成果を地域のために生かしていくことが求められます。

また、家庭はすべての教育の出発点となるため、子どもが基本的な生活習慣や基本的倫理観、自制心や自立心などを身につけるうえで、家庭教育は重要な役割を担っています。

■ 地域(常会、子ども会、友愛クラブ等)の役割

常会や子ども会、友愛クラブ等は地域の「学びの場」と「学びの成果を生かす場」となることが期待されるため、地域のつながりの中で活力あるまちづくりに向けた学びを実践していくことが求められます。

■ 生涯学習活動団体(GCSL 等)の役割

GCSL 等の生涯学習活動団体は市における多様な学習活動を支える上で大きな役割を担っています。市民の生涯学習活動を支援するとともに、市民と市とのつなぎ役として、学びの成果をまちづくりに生かすという学びの循環の一躍を担うことが期待されています。

■ 企業の役割

企業は地域住民のひとりとして、社会貢献活動（CSR 活動）が求められており、従業員等に対して多様な学習機会の提供を行うほか、地域住民に対して企業の特徴を生かした学習活動を提供していくことが期待されています。

■ 教育機関の役割

各学校は地域に開かれた学びの場として、それぞれの専門性や特色を活かし、市民の学びを生かす場となる役割が求められます。また、大学、専門学校等の大学等高等教育機関は、生涯学習機関として社会人の学び直しの機会の提供のほか、地域課題の解決に資する人材育成、地域貢献などの役割が期待されています。

■ 蒲郡市の役割

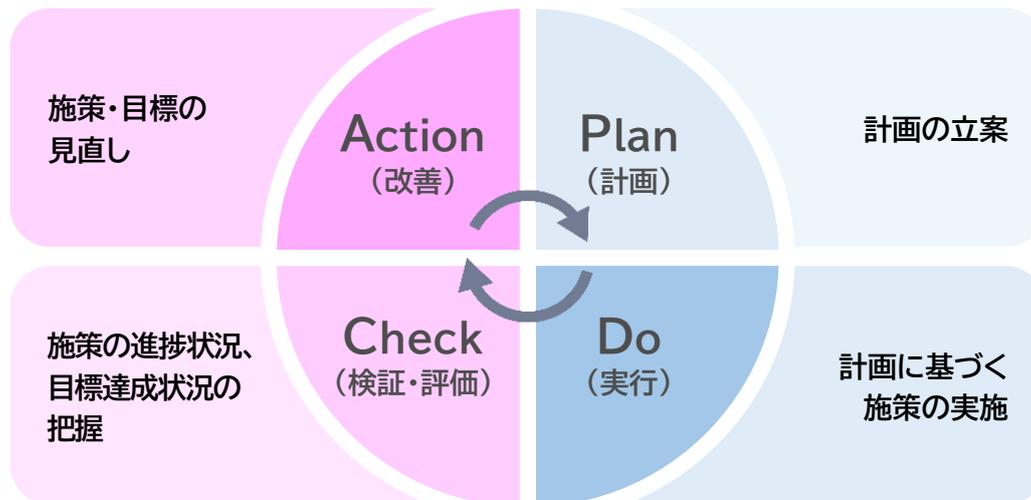
市は、市民ニーズを踏まえた生涯学習の場の提供とともに、学習へのきっかけづくり、学習に参加しやすい環境の整備、学習成果を生かせる場づくりなどに取り組み、気軽に「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境整備を行います。

また、市の生涯学習関連施設や国、県などの関係機関と連携を図りながら、生涯学習施策を効果的に推進していきます。

2 計画の進行管理

本計画における取り組みの推進に向けては、蒲郡市教育委員会生涯学習課が中心となり、計画の周知を行うとともに、関係各課との連携を図りながら、全庁的な推進を図ります。

また、本計画を効果的に推進し、目標を達成するためには、取り組みの進捗状況を把握し、適宜改善を図っていくことが重要になるため、PDCA サイクルに基づき、計画の進行管理を行います。



1 生涯学習推進計画 2022 策定委員会設置要綱

生涯学習推進計画 2022 策定委員会設置要綱を掲載します。

2 生涯学習推進計画 2022 策定委員会名簿

生涯学習推進計画 2022 策定委員会名簿を掲載します。

3 計画策定の経過

計画の過程等を整理します。

4 蒲郡市の取組一覧

基本方針1 学びの場づくり

(1) 多様な学びの場の提供

施策① 学習ニーズの把握と事業の整理

具体的施策	主な取り組み	担当課
市民の学習ニーズの把握	● 講座終了時におけるアンケートの実施	関係各課
	● 市民アンケート・意見交換会等の実施	生涯学習課
生涯学習関連事業の整理	● 生涯学習関連事業の把握・整理	生涯学習課

施策② ニーズに応じた学びの提供

具体的施策	主な取り組み	担当課	
ライフステージに応じた学習機会の提供	乳幼児期 (子育て期)	● 幼児教室、親子ふれあいひろば	生涯学習課
		● パパママ教室 ● 赤ちゃんサロン ● うみのご広場	健康推進課
		● 1歳児教室 ● 2歳児教室	子育て支援課
		● 親子遊び ● 育児講座	図書館
		● おはなし会、「おはなし玉手箱」、「本となかよくするために」	交通防犯課
		● 幼児交通安全教室	福祉課
		● 発達障がい講演会	科学館
		● 科学館インタープリターによる保育園・幼稚園への出前講座	生涯学習課
	学童期・ 青少年期	● 幼児教室、親子ふれあいひろば	生涯学習課
		● 子ども交流事業の支援	生涯学習課
		● 少年少女発明クラブ	子育て支援課
		● 親子料理	環境清掃課
		● 高校生による地域課題解決型学習	観光商工課
		● 成人式実行委員会の支援	交通防犯課
		● 地域学校協働活動事業	都市計画課
		● 蒲郡市子ども会連絡協議会の支援	協働まちづくり課
		● 親子料理	科学館
		● 里山自然観察会	図書館
		● 「若者に多い消費者トラブルから身を守ろう」	青少年センター
		● 自転車バス利用教室	
● 「がまごおりの景観について考えてみよう」			
● 多文化共生推進講座、男女共同参画推進講座			
● 科学館館長による小中学校向け理科授業講座、子供向けのワークショップやサイエンスショー			
● 読書感想文教室			
● 高卒認定試験等の学習支援、「インターネットを安全に使うために」、「家庭の日」親子教室、地域ふれあい活動			

具体的施策		主な取り組み	担当課
ライフステージに応じた学習機会の提供	成人期	● 就業支援に関するセミナー（キャリアアップ講座等）	生涯学習課
		● 公民館家庭教育学級、公民館補助学級、愛知大学との共催講座	
		● 認知症支援講座	健康推進課
		● 家族介護教室	
	高齢期	● 保護者を対象としたネットトラブルに関する学習講座	青少年センター
		● 「オジ先生の英会話教室」、男女共同参画に関する講演会やサテライトセミナーの開催	協働まちづくり課
		● 公民館高齢者教室（健康教室・料理教室）	生涯学習課
		● 高齢者サロンでの健康教育	健康推進課
趣味・教養のための学びの提供	● 友愛クラブ教養講座 ● 介護予防教室	長寿課	
	● 「いこいの場」ガイドブックの配布		
	● 公民館生涯学習講座 ● GCSL 企画講座	生涯学習課	
新しい知識・技術に関する学びの提供	● 古文書を読む会	博物館	
	● 科学講座	科学館	
	● 市民パソコン教室、スマホ講座	生涯学習課	
	● 高齢者デジタルサポーター（県事業）の活用促進 ● デジタル活用支援推進事業等実施団体への活動支援	デジタル行政推進課	
	● 学校の ICT 環境の整備	庶務課	
	● 「SDGsについて」	企画政策課	

(2) 文化・芸術活動の充実

施策① 文化芸術の振興

具体的施策	主な取り組み	担当課
多彩な文化芸術にふれる機会の充実	● 東三河連携講座 ● GCSL 企画講座 ● 市民文化祭 ● 春の文協まつり ● 蒲郡市吹奏楽団コンサート ● 「スタインウェイピアノを弾こう！」 ● 文化協会による学校への出前講座（箏曲・舞踊・民謡等） ● 公民館生涯学習講座 ● 俊成短歌大会	生涯学習課
	● 「古文書寺子屋」	博物館
文化芸術活動への支援	● 公民館まつり ● 生涯学習成果発表会 ● 文協まつりや文化講演事業への支援 ● 地域学校協働活動事業（再掲） ● 自費出版の表彰制度	生涯学習課
様々な文化交流の促進	● 公民館のクラブ・サークルと GCSL、文化協会などの会員同士の意見交換会の開催	生涯学習課
	● 市民活動団体や地域づくりに取り組まれている方々の交流の場の提供 ● 国際交流協会による国際交流イベントの開催	協働まちづくり課
	● 竹島観光ボランティアガイド養成講座 ● 「観光交流立市のまち育て」	観光商工課

施策② 歴史的・文化的資源の継承

具体的施策	主な取り組み	担当課
まちの歴史を知る機会の提供	● 郷土の歴史・民俗に関する出前講座、講演等	博物館
	● 学校向け出張講座	
	● 竹島観光ボランティアガイド養成講座	観光商工課
文化財の保護・保全と担い手の育成	● コミュニティ助成事業・市文化財保存事業補助金等	博物館
	● 歴史研究や保存を目的としたクラブ・サークルの制作物の展示（公民館まつり等）	生涯学習課

(3) 生涯スポーツ活動の推進

施策① スポーツ・レクリエーション活動の推進

具体的施策	主な取り組み	担当課
スポーツ・レクリエーション活動の推進	● 各種スポーツ関係団体の育成・支援	スポーツ推進課
	● 各種スポーツ大会・教室の開催・支援	
	● GCSL 企画講座【再掲】	生涯学習課
	● 親子ふれあい広場	
	● 公民館高齢者教室（健康教室）	
	● グラウンドゴルフ大会	観光商工課・ 生涯学習課・ 長寿課
	● 運動の体験教室	健康推進課
ニースポーツの普及	● ニースポーツの普及促進	スポーツ推進課
スポーツを通じた地域交流の促進		

施策② スポーツ環境の整備

具体的施策	主な取り組み	担当課
スポーツ施設の充実等	● 体育施設整備事業 ● 体育施設維持管理事業	スポーツ推進課
地域資源の有効活用	● 学校体育施設開放事業	スポーツ推進課
がまごおり・運動スポーツマップの配布	● がまごおり・運動スポーツマップの作成・配布	スポーツ推進課

基本方針2 学びの環境づくり

(1) 学びに関する広報・情報提供

施策① 情報の効果的な発信

具体的施策	主な取り組み	担当課
多様なツール・手段による情報発信	● 広報がまごおり、市ホームページ等による情報提供	関係各課
	● SNS を活用した情報提供	
	● 「生涯学習ガイドブック」の配布	生涯学習課
	● 市役所各課の講座情報の集約・広報	
公民館ホームページの開設	● 「蒲郡市運動・スポーツマップ」の配布	健康推進課
	● 公民館ホームページの開設	生涯学習課

施策② 学びの魅力の発信

具体的施策	主な取り組み	担当課
情報紙・SNS 等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館だより、文化協会機関紙による周知 ● SNS を活用した情報発信 ● 蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSSL）パンフレットの作成 	生涯学習課
蒲郡市文化・スポーツリーダーによる情報発信	● 蒲郡市文化・スポーツリーダー（GCSSL）を活用した活動の魅力発信	生涯学習課

(2) 誰もが気軽に学べる機会の提供

施策① 参加しやすい環境整備

具体的施策	主な取り組み	担当課
多様な学習スタイルの提供	● オンライン講座・オンライン動画による学習の実施	関係各課
相談窓口の充実	● 中央公民館の新設	生涯学習課

施策② 障害のある人、外国住民に対する支援の充実

具体的施策	主な取り組み	担当課
障害のある人への合理的配慮の提供	● 障がいのある方が参加しやすい情報が入ったチラシ作りの指導	生涯学習課
外国人住民に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 市主催の日本語教室や蒲郡国際交流協会のボランティアによる日本語教室 ● 日本人住民向けの外国語講座 ● 多文化共生推進プランの推進 	協働まちづくり課

基本方針3 学びを支える基盤づくり

(1) 生涯学習関連施設の充実

施策① 施設の整備・充実と使用しやすい施設運営

具体的施策	主な取り組み	担当課
施設の整備・充実	● 計画的な施設整備 ● 指定管理者との連携	関係各課
	● 公民館への Wi-Fi の導入	生涯学習課
利用環境の見直し	● 施設予約システムの見直し ● 託児付き講座	関係各課
	● 公民館施設の利用基準の緩和【生涯学習課】	

施策② 公民館機能の充実

具体的施策	主な取り組み	担当課
中央公民館の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央公民館の新設 ● 専門職員（社会教育主事等）の配置 ● 地区公民館や市役所各課で実施している講座や講師の情報の集約化 ● 地区公民館の支援 	生涯学習課
地区公民館の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民同士が集まり、つながりを作り出す空間の設置 ● 地域学校協働活動事業 ● SNS などを活用した情報発信による多世代の参加促進 	生涯学習課
	● コミュニティバスの運行による交通環境の整備	交通防犯課

(2) 生涯学習を推進する体制の構築

施策① 活動団体への支援の充実

具体的施策	主な取り組み	担当課
団体・サークルに関する情報の発信	● 「生涯学習ガイドブック」など活用した情報発信	生涯学習課
	● がまごおり市民まちづくりセンターでの情報提供	協働まちづくり課
活動に関する相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ● GCSL 企画講座 ● GCSL 企画講座体験会の開催 	生涯学習課
団体・サークル間の交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館のクラブ・サークルと GCSL、文化協会などの会員同士の意見交換会の開催 ● 公民館代表者会議における情報共有 	生涯学習課
	● 市民活動団体や地域づくりに取り組まれている方々の交流の場の提供	協働まちづくり課

施策② 指導者の育成・活用

具体的施策	主な取り組み	担当課
生涯学習活動指導者の育成	● 若い世代の研究者講師の発掘	生涯学習課
生涯学習活動指導者の活用	● 蒲郡市文化協会からの講師派遣	生涯学習課
	● GCSL 登録制度	
	● 地区公民館や市役所各課で実施している講座や講師の情報の集約化	

基本方針4 学びを通じたまちづくり

(1) 豊かな地域づくりに向けた生涯学習の推進

施策① 社会的課題等に対応した学びの提供

具体的施策	主な取り組み	担当課
共生社会の実現に向けた学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 男女共同参画に関する講演会やサテライトセミナーの開催 ● 人権、性的マイノリティに関する研修や講座の実施 ● 多文化共生推進プランの策定及び推進 	協働まちづくり課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい理解に関する啓発講座 	福祉課
健康づくりに関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康教室・健康大学の実施 ● 健康づくりに関する出前講座 ● 食育劇 ● 企業・事業所に向けた健康出張講座 ● 介護予防に向けた健康教室 	健康推進課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館高齢者教室（健康教室・料理教室） 	生涯学習課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「食育とは」 	農林水産課
環境に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 「体感！地球 46 億年の歴史」 	科学館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境チャレンジ 	科学館・学校教育課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「温暖化対策講座」 ● 「遊んで学ぼう！リサイクル」 ● 「ごみ処理施設を見てみよう」 ● クリーンキャンペーンの実施 	環境清掃課
防犯・防災に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 防犯活動に関する出前講座 	交通防犯課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災・減災に関する体験型出前講座 ● 防災教育の催事 	危機管理課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「わが家の耐震診断」 	建築住宅課
生活に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 各保育園での幼児交通安全教室 ● 各小学校での交通安全教室（自転車利用・バス利用教室） 	交通防犯課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校給食センター施設案内 	学校給食課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「普通救命講習」 ● 来て見て触れて消防署の見学 	総務課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「蒲郡市の水道水」 	水道課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 下水道浄化センター小学生用施設見学 	下水道浄化センター
	<ul style="list-style-type: none"> ● 実践！ゴミ出しマナー教室 	環境清掃課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「花苗育成講座」 	都市計画課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費生活相談員による寺子屋講座」 	観光商工課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「やってみよう！図書ボラ」 ● 「調べ学習の達人になろう」 	図書館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「選挙のしくみ」、「情報公開」ってなあに？」 	行政課
	<ul style="list-style-type: none"> ● ようこそ市議会へ 	議会事務局
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「年金講座」、「後期高齢者医療のはなし」、「国民健康保険のはなし」 	保険年金課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地・建物の税金教室 	税務課

具体的施策	主な取り組み	担当課
地域課題解決型学習の推進	● 地域支え合い座談会	長寿課
	● 市民ワークショップの開催	関係各課
	● がまごおり市民まちづくりセンターでの情報提供	協働まちづくり課

施策② 地域の魅力を発見する機会の提供

具体的施策	主な取り組み	担当課
学びを通じた交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民文化祭の開催 ● 公民館のクラブ・サークルの紹介 ● SNSなどを活用した情報発信による多世代の参加促進 ● 市役所各課の講座情報の集約・広報 ● 住民同士が集まり、つながりを作り出す空間の設置 	生涯学習課
地域を学ぶ学習の充実	● 地域学校協働活動事業	生涯学習課
	● 竹島観光ボランティアガイド養成講座	観光商工課
	● 「観光交流立市のまち育て」	
	● 親子魚料理教室 ● 蒲郡子ども農業教室	農林水産課
	● 「蒲郡の農業」、「蒲郡の水産業」	
	● 「再生医療のまち蒲郡」に関する講座（小・中学生、市民対象）	産業政策課
	● 郷土の歴史・民俗に関する出前講座、講演等	博物館
	● 企業の協力によるワークショップやサイエンスショー	科学館
● 「道路整備計画について」	道路建設課	
● 「蒲郡市のまちづくりについて」	秘書広報課	

(2) 地域の連携体制の構築

施策① 市民参画の促進

具体的施策	主な取り組み	担当課
地域ボランティアの育成	● 地域ボランティア養成講座	生涯学習課
	● GCSL 登録制度	
	● こんにちは赤ちゃん訪問員の育成	健康推進課
	● 多胎妊産婦サポーター養成講座	
	● 食生活改善推進員の育成	
	● 「健康づくりいっしょにやろまい会」の活動支援	
	● 介護予防サポーター養成講座	
	● 「愛知県健康づくりリーダー」登録研修会の周知及び活動支援	
	● 福祉実践教室（ボランティア体験）の実施	福祉課
	● 「ふれあい蒲郡」会員養成講座	
● 「ゲートキーパーとは」		
● 「手話で日常会話をしてみよう」		
● 認知症サポーター養成講座	長寿課	
● 市民活動に対する助成事業の実施	協働まちづくり課	

具体的施策	主な取り組み	担当課
学びの成果を地域に生かす仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域学校協働活動事業 ● 発表の場の充実（市民文化祭、公民館まつり、生涯学習成果発表会等） ● GCSL 企画講座 	生涯学習課

施策② 地域との連携による学習の促進

具体的施策	主な取り組み	担当課
学校と地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域学校協働活動事業 	生涯学習課
関係団体や大学・企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 学芸員実習（博物館、生命の海科学館） ● 市民教養講座への講師派遣（愛知大学） ● 愛知大学豊橋校舎における教養セミナーの開催（愛知大学） ● 少年少女発明クラブ講師派遣と学習場所の提供（愛知工科大学） ● 学生ボランティアサークル部員によるワークショップの開催（愛知工科大学） 	生涯学習課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 津波体験ドライビングシュミレータや拡張現実アプリによる災害疑似体験の提供（愛知工科大学） 	危機管理課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の協力によるワークショップやサイエンスショー 	科学館

5 アンケート調査結果